

京田辺市幼稚園・保育所(園)・認定こども園など幼児期の教育と
小学校教育の円滑な接続のための

幼小接続カリキュラム

幼小接続ファイル



京田辺市教育委員会

京田辺市幼小接続カリキュラム作成委員会

目次

1 はじめに	1
2 接続期のとらえ方	3
3 何を接続するのか ～接続期に育みたい力 「4つの視点」～について	6
4 カリキュラムの構成 ～ どう接続するのか ～ (1) 大カリキュラム	8
(2) 中カリキュラム	10
(3) 幼児期の教育と小学校教育の接続を進める3つのカリキュラム	11
5 資料	22
6 おわりに	62



1 はじめに

平成 27 年度より幼稚園・保育所・認定こども園、保育所型認定こども園の特性を活かした良質かつ適切な教育・保育、子育て支援を総合的に提供する体制を整備することを目的とした「子ども・子育て支援新制度」が始まりました。

平成 24 年に文部科学省が行った調査によると、ほとんどの地方公共団体が幼小接続の重要性を認識しています（都道府県 100%、市町村 99%）。その一方で、幼小接続の取組は十分実施されているとはいえない状況（都道府県 77%、市町村 80%）が未実施であり、その理由として、「接続関係を具体的にすることが難しい」（52%）、「幼小の教育の違いについて十分理解・意識していない」（34%）、「接続した教育課程の編成に積極的ではない」（23%）などがあげられています。

そういう現状を踏まえて、小学校新学習指導要領には幼稚期と小学校教育の接続の重要性が以下のように示されています。

「幼稚期の終わりまでに育ってほしい姿を踏まえた指導を工夫することにより、幼稚園教育要領等に基づく幼稚期の教育を通して育まれた資質・能力を踏まえて教育活動を実施し、児童が主体的に自己を発揮しながら学びに向かうことが可能となるようすること。」また、「低学年における教育全体において、例えば生活科において育成する自立し生活を豊かにしていくための資質・能力が、他教科等の学習においても生かされるようにするなど、教科等間の関連を積極的に図り、幼稚期の教育及び中学年以降の教育との円滑な接続が図れるよう工夫すること。特に、小学校入学当初においては、幼稚期において自発的な活動としての遊びを通して育まれてきたことが、各教科等における学習に円滑に接続されるよう、生活科を中心に、合科的・関連的な指導

や弾力的な時間割の設定など、指導の工夫や指導計画の作成を行うこと。」とあります。

こういった新学習指導要領に記された背景から、本市においても幼児期の教育と小学校教育の円滑な接続を目指して、幼小接続カリキュラムを作成することにしました。このカリキュラムにより幼児期に資質・能力を育む体験的・総合的な学びが、生活科「スタートカリキュラム」等を通じて低学年における各教科等の「見方・考え方」につながり、3年生以降の社会、理科、総合的な学習の時間等につながっていくと考えます。

京田辺市では幼小接続カリキュラムの作成に向けて、幼稚園・保育所の教諭・保育士と小学校の教諭によるワーキングチームを立ち上げ、1年をかけて意見交換や協議を重ねてまいりました。

今後、それぞれの立場でご活用いただき、知・徳・体にわたる「生きる力」を子どもたちに育むための一助となることを願っています。



2 接続期のとらえ方

(1) 接続期における教育・保育の重要性について

平成30年度の改訂では幼児期の教育と小学校教育の接続期における教育が重要視されています。幼稚園・保育所(園)の幼児期の教育を小学校教育の先取り教育と捉えるのではなく、幼児期における遊びを通した総合的な学びから他教科等における学習に円滑に移行し、主体的に自己を発揮しながら、より自覚的な学びに向かうことが可能となるようにすることが必要です。そのためにも何より幼児期の学びと育ちに対する理解を前提として、児童が安心して小学校生活送り、自らの力を発揮しながら主体的な学習者として育っていく過程を作り出すことが重要です。

(2) 京田辺市の状況について



本市では小学校9校、公立幼稚園7園・公立認定こども園1園がほぼ隣接し、連携行事等も充実して行われています。また、公立保育所も4所、私立幼稚園2園、私立保育園2園、私立認定こども園3園、私立小規模保育事業所3園、認可外保育施設3園があり、就学前教育が充実しています。年間を通して幼稚園・こども園・保育所(園)の合同研修会と、小学校教諭との研修会が行われており、互いの保育・教育を学ぶことができます。



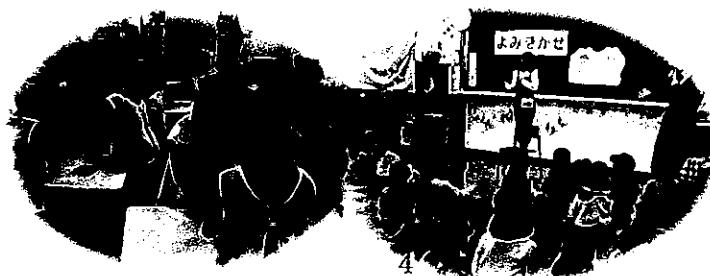
(3) 接続期のとらえ方

円滑な接続は、幼稚園・認定こども園、保育所(園)と小学校の教育の違いを理解することが大切です。子どもの発達の違いから教育課程の構成や指導方法等、様々な違いがみられますが、子どもの育ちと学びは、幼児期と就学後ではっきり分かれているものではありません。幼児期の教育と小学校教育の違いと連続性を調和させ、何をどのように接続させていくのかを考えていくことが大切です。

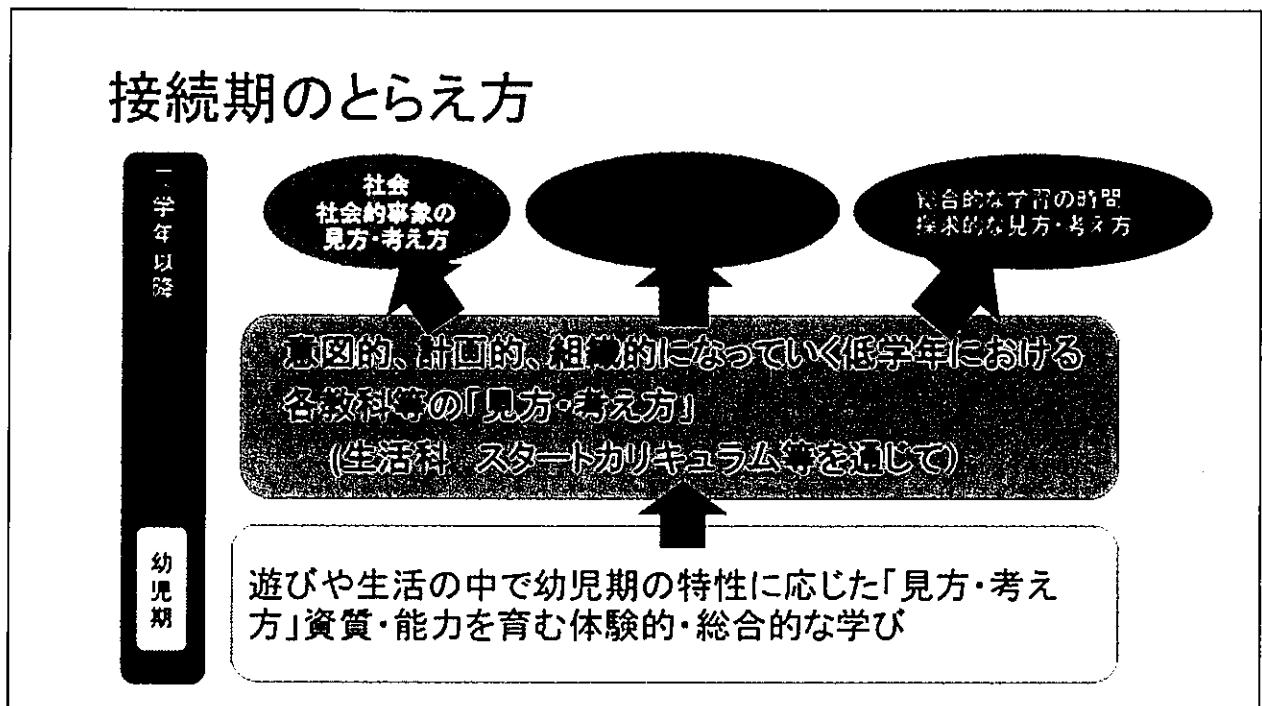
幼児期に適切な環境の中で培った遊びへの興味関心、意欲は、就学後の学習意欲や豊かな人間関係につながります。

幼児期の教育との連携や接続を意識した「アプローチカリキュラム」「スタートカリキュラム」については生活科固有の課題としてではなく、教育課程全体を視野に入れた取組とし、「スタートカリキュラム」の具体的な姿を明らかにするとともに、国語科、音楽科、図画工作科などの他教科等との関連についてもカリキュラム・マネジメントの視点から検討し、学校全体で取り組む「スタートカリキュラム」とする必要があります。

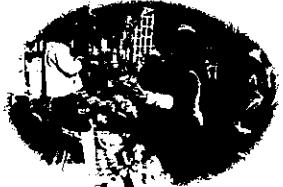
また、社会科や理科、総合的な学習の時間はじめとする各教科等への接続を明確にすること。単に中学年の学習内容の前倒しにならないよう留意しつつ、育成をめざす「資質・能力」や「見方・考え方」のつながりを検討することが必要です。



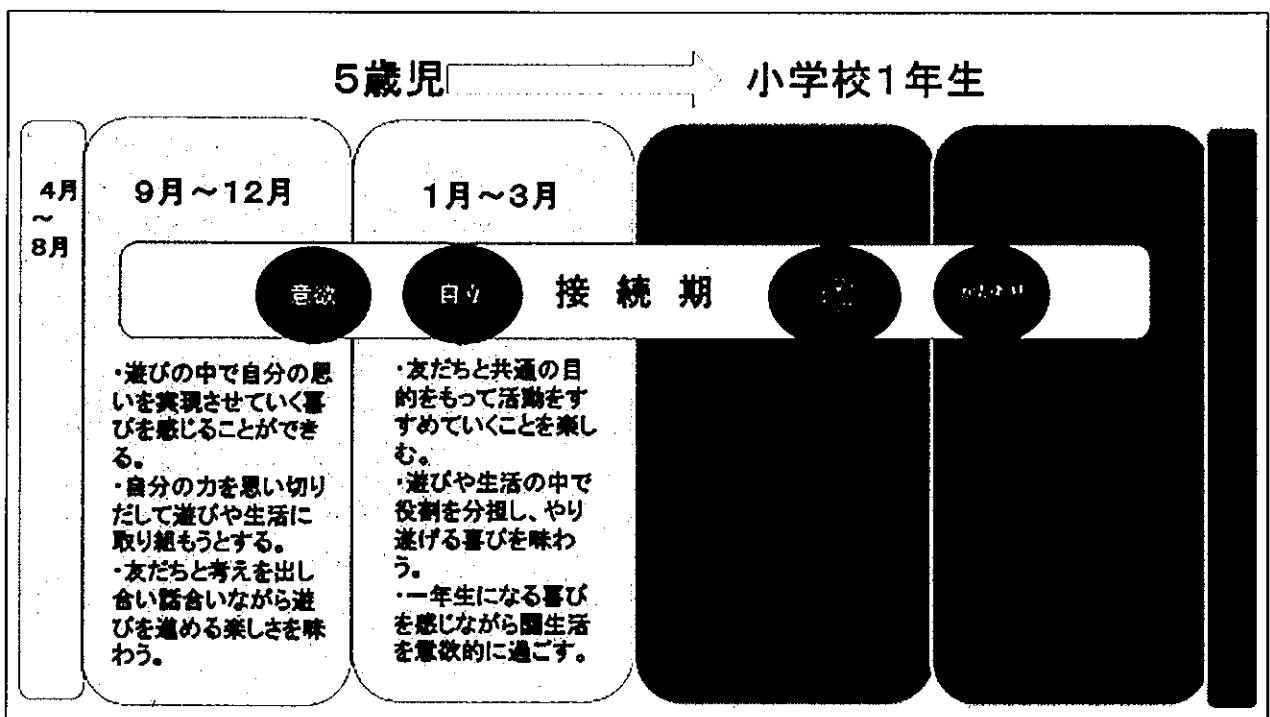
接続期のとらえ方



本市においては、5歳児の9月から小学校1年生の7月までを4つに



分けて接続期とし、接続期に育みたい力「4つの視点」について示しました。



3 何を接続するのか～接続期に育みたい力「4つの視点」～について

(1) 全国学力・学習状況調査より明らかとなった本市の課題および特に育みたい力

- ア 自己肯定感を高め、将来を展望する力
- イ 主体的に学習に取り組む意欲や習慣
- ウ 社会への関心や関わり
- エ 豊かな言語能力(語彙と表現力)
- オ 情報を活用し(他者や図書、ICT)深く考える力

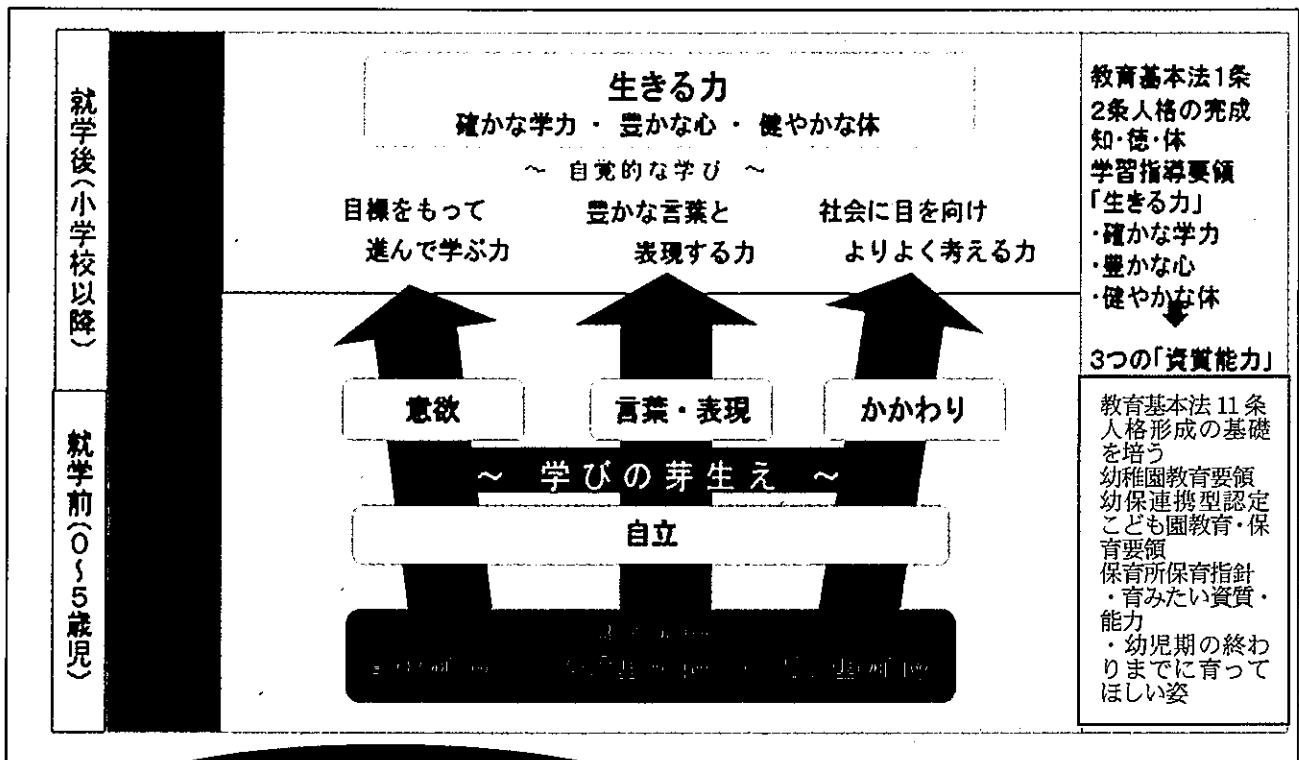


(2) 本市学校教育で育む3つの「資質・能力」

- ア 「知識・技能」の基礎
 - ➡ 豊かな言葉と表現する力
- イ 「思考力・判断力・表現力等」の基礎
 - ➡ 社会に目を向けより良く考える力
- ウ 「学びに向かう力・人間性等」
 - ➡ 目標をもって進んで学ぶ力



接続期に「自立」「意欲」「言葉・表現」「かかわり」の4つの視点を大切にしながら指導することが、3つの「資質・能力」の育ちにつながるものと考えます。



先輩先生からの
ワンポイントアドバイス！

日常の遊びに中にある学びの芽生えを意識しながら、保育をしましょう

子どもにとっては、「楽しいから遊んでいる」のですが、それにはねらい達成のための多くの環境・援助・かかわりがあります。楽しいから繰り返して遊んだり、挑戦したりするのです。子どもはその中で体験を重ね、様々な事を「学び」につないでいます。

幼児期の保育の仕方と小学校の教育の仕方は違います。形態や教科を真似るのでなく幼児期にふさわしい方法で保育をしましょう。



4 カリキュラムの構成 ~ どう接続するのか ~

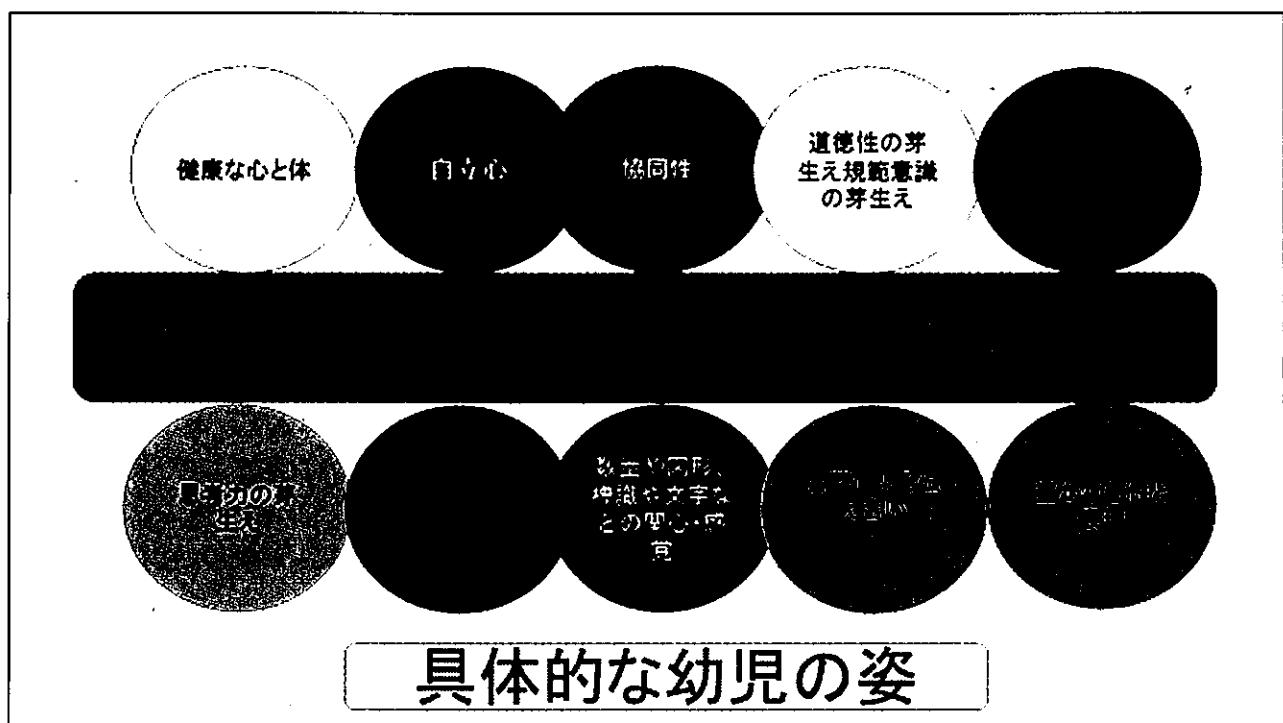


(1) 大カリキュラム

まず、接続期を大きく見通してみましょう。

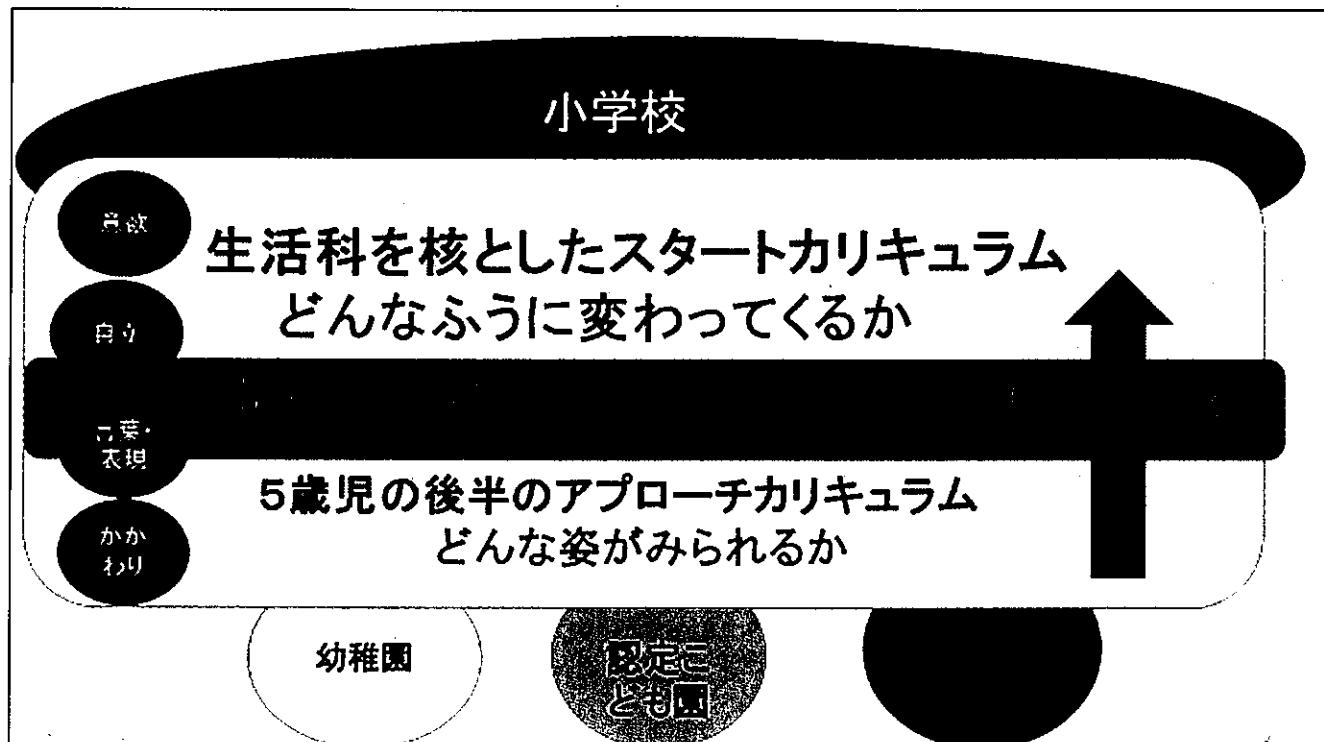
「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を「4つの視点」で再構成しています。縦に見るとその時期の子どもの姿がイメージできます。横に見ると子どもの姿の変化をイメージすることができます。

ア 幼稚園・認定こども園・保育所(園)と小学校が共有する 10 の姿



イ 接続期

4つの視点に基づき、子どもの姿を表した10の姿を共有してみましょう。



(資料1を参照)

(2) 中カリキュラム

指導がイメージしやすいように各期の保育・教育で大切にしたいことを
「テーマ」、「ねらい」と表しています。幼児・児童の姿と合わせて指導をイ
メージしましょう。(中カリキュラムより抜粋 資料2を参照)

9月・10月・11月・12月 テーマ 友達と一緒に遊ぶって楽しいな

ね
ら
い

- 遊びの中で自分の思いを実現させていく喜びを感じる
- 自分の力を思いきり出して遊びや生活に取り組もうとする
- 友達と考えを出し合い話し合いながら遊びを進める楽しさを味わう

幼
児
の
姿

- ☆友達と相談しながら自分達で遊びの場や内容を決め、自分の思いを出し、相手の思いも受け入れながら遊びを進めていく面白さを感じるようになってくる。
- ☆大きな行事を経験したことが自信となり、いろいろなことに積極的に取り組むようになる。また、互いに認め合い仲間意識が深まる。
- ☆落ち葉や木の実を集めたり、名前に関心をもったり、使って遊んだりすることを通して自然物に対して積極的に働きかけ、数量の感覚を育んだり、生活や遊びに取り入れていこうとしたりする姿がみられる。
- ☆自分の考えと友達の考えの違いに気付き、折り合いをつけながら一緒に行動するようになる。

	4つの視点	◇環境作り ※保育者・指導者の関わり	活動・行事
自立			
意欲		各期の姿を育むための指導の留意点を	
言葉 ・表現		4つの視点に分けて記しています。保 育・単元を構成する時に子どもの実態	
かか わり		に合わせ具体化しましょう。	

(3) 幼児期の教育と小学校教育の接続を進める

3つのカリキュラム

- ア 「アプローチカリキュラム」「スタートカリキュラム」の作成
- イ 「生活科カリキュラム」の改善
- ウ ねらいを明確にした交流体験活動

本市では、新学習指導要領総則に則り、小学校に入学した児童がスムーズに学校生活へ適応していくための「アプローチカリキュラム」「スタートカリキュラム」の作成と、幼児期における遊びを通した総合的な学びを他教科等の学習へつなげていく「生活科」の工夫改善、これまでにも行われている幼小の「交流」教育の充実を3つの柱に、幼小の接続を推進していきます。



ア 「アプローチカリキュラム」「スタートカリキュラム」の作成

(a) 「アプローチカリキュラム」「スタートカリキュラム」のねらい

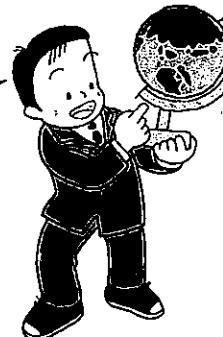
子どもが、幼稚園・認定こども園・保育所(園)などの遊びや生活を通した学びと育ちを基礎として、主体的に自己を発揮し、新しい学校生活を創り出していくためのカリキュラムです。「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を踏まえた指導を保・幼・小が工夫することにより、入学した児童に「明日も学校に来たい」という意欲をかき立てます。

たくさんの園から入学している、友達がない子、経験したことのない生活…
子ども達は不安も多いばかり！！



一人一人の子ども
が安心感をもてる
ようにしましょう。

幼稚期には自発的な遊びを中心



各教科等の学習に円滑に接続をし、学習に意
欲的に取り組めるように、自発性をベースにした
学習、経験に基づく学習へ移行させましょう

先生とつながる、友達とつながる。そして徐々に集団を形成していく！



学習や生活の基盤となる
学級集団をつくりましょう

(b) スタートカリキュラム作成上の留意点

一人一人の子どもの成長の姿から編成する。

幼稚園・保育所等の先生と意見交換をしたり、要録等を活用したいしましょう！



子どもの発達を踏まえ、時間割や学習活動を工夫する。



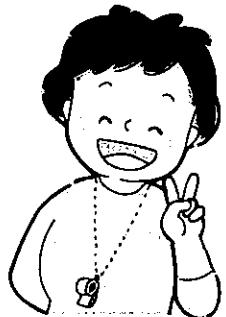
この時期の発達の特徴を踏まえ、20分や15分程度のモジュールで時間割を構成したり、活動性のある学習を取り入れたいしましょう。

生活科を中心に合科的・関連的な指導の充実を図る。

自らの思いや願いの実現に向けた活動をゆったりとした時間の中で進めていきましょう。



安心して自ら学びを広げる学習環境を整える。



子どもが安心感をもち、自分の力で学校生活を送ることができるように学習環境を整えましょう。

(資料3、4を参照)

先輩先生からの
ワンポイントアドバイス！

スムーズな接続って何だろう？

幼稚園・認定こども園・保育所(園)を卒園し、入学していく子ども達は、小学校入学への喜びと期待、そしてちょっぴりの不安も抱いていると思います。その期待や不安って？

やはり小さい子どもなりに小学校へ行ったら「勉強をするんだ！」「お兄ちゃん、お姉ちゃんになるんだ」「しっかりしなくちゃ」という気持ちで満ちあふれているからでしょう。ある意味それは私達、教師や大人が植え付けていることかもしれません。

幼児期でたくさんの遊びを通して培った「学びの芽生え」を小学校のスタートでうまく引き継ぎ、「自発的な学び」へつなげていくためにも、小学校の先生も幼稚園・保育所(園)の子ども達の遊びの様子を是非とも参観する機会があるとよいですね。とっても勉強になりますよ。

(c)スタートカリキュラムの作成

1 週目	<p>作成上の留意点</p> <ul style="list-style-type: none"> 1時間目の始めに、幼稚期の教育でなじんだ活動を毎日帯状で取り入れることで、楽しく安心して遊びや生活が送れるようにする。 45分1単位という考えではなく、生活科を中心とし、子どもたちの気付きや意欲を大切にした授業を展開できるようにする。 学校探検を通して、学校の施設に触れさせたり、様々な先生と出会わせたりすることで、小学校生活への円滑な導入を図る。 <p>教師の関わり</p> <ul style="list-style-type: none"> 授業や生活の中で、幼稚期の教育での遊びの要素を取り入れながら活動し、緊張感を和らげながら楽しめるようにする。 一日の学校生活の流れがわかり、生活に見通しがもてるような掲示物を工夫する。 幼稚園、認定こども園、保育所(園)との引き継ぎを基に個々の学校生活の様子等に気を配り、実態把握と共に理解を行う。
	<p>作成上の留意点</p> <ul style="list-style-type: none"> 先週に引き続き、朝学習に幼稚期の教育でなじんだ活動を取り入れることで、楽しく安心して遊びや生活が送れるようにする。 1時間目には、歌や音読などで元気に一日を始められるようにする。 音楽や国語、生活科など様々な教科で、新しい友達と触れ合う機会を多く設定する。 <p>教師の関わり</p> <ul style="list-style-type: none"> 一日の流れの見通しがもてるような工夫によって子どもたちの不安を取り除く 授業だけでなく休み時間の子どもたちの様子にも目を向け、コミュニケーションをとったり、一緒に遊んだりすることで不安感を取り除くようとする。 少しずつ教科学習に向かう気持ちや姿勢を意識させる。 グループ学習やペア学習など学ぶ形態を工夫し、主体的に学習に向かったり、新しい友達のことを知ったりすることができるようとする。
3 週目	<p>作成上の留意点</p> <ul style="list-style-type: none"> 小学校生活のルールや話の聞き方などについて再確認しながら、45分の授業に少しずつ慣らしていく。 朝学習は幼稚期の教育でなじんだ活動、1時間目にひらがな学習というように、毎日帯状にパターン化することで、一日の流れをつかみ、見通しをもって安心して過ごすことができるようとする。 <p>教師の関わり</p> <ul style="list-style-type: none"> グループ学習やペア学習など学ぶ形態を工夫し、主体的に学習に向かったり、新しい友達のことを知ったりすることができるようとする。 配慮や支援が必要な児童についてはきめ細かに観察し、適切に支援を行う。 家庭訪問や日々の連絡等を通して、家庭での生活の様子を把握すると共に、学校生活の様子を知らせるなど、日常的に連携する。
	<p>作成上の留意点</p> <ul style="list-style-type: none"> 45分の時間割とするが、児童のペースに合わせた弾力的な時間配分を心がける。 疲れが予想される午後は、ゆっくり過ごしたり、体を動かしたりして気分転換が図れたりするような活動を取り入れる。 <p>教師の関わり</p> <ul style="list-style-type: none"> 授業時間だけでなく、休み時間も人間関係が広がるように、全員遊び等を取り入れる。 学校のルールやきまりを繰り返し、丁寧に指導する。

さあ、子どもの実態をみて計
画を立てみましょう！

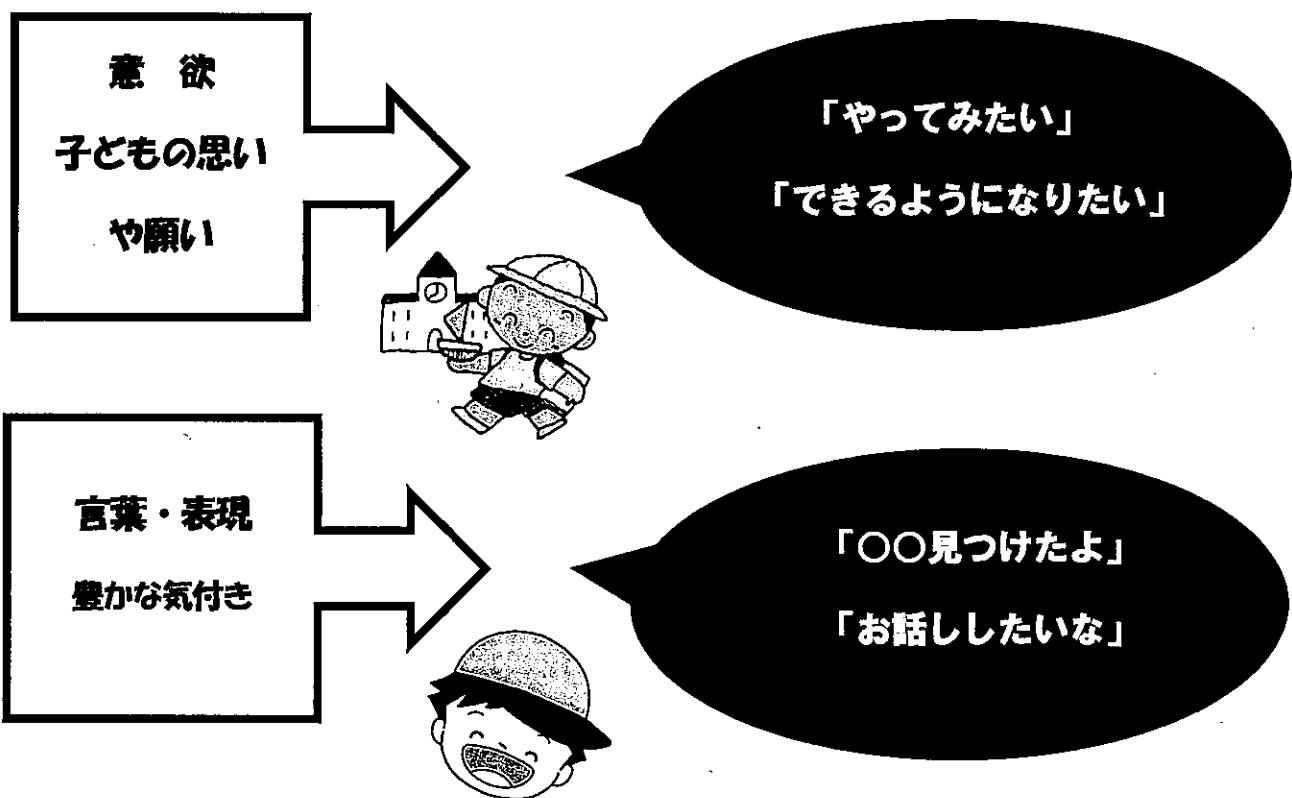
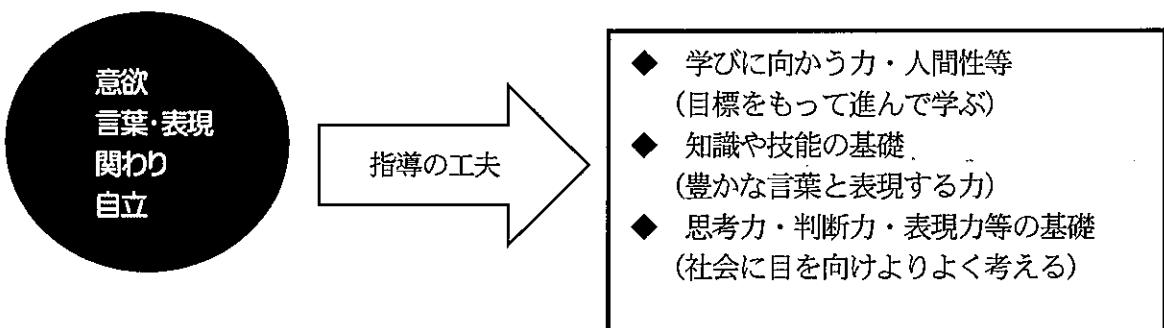
1週目	作成上の留意点
	教師の關注点
2週目	作成上の留意点
	教師の關注点
3週目	作成上の留意点
	教師の關注点
4週目	作成上の留意点
	教師の關注点

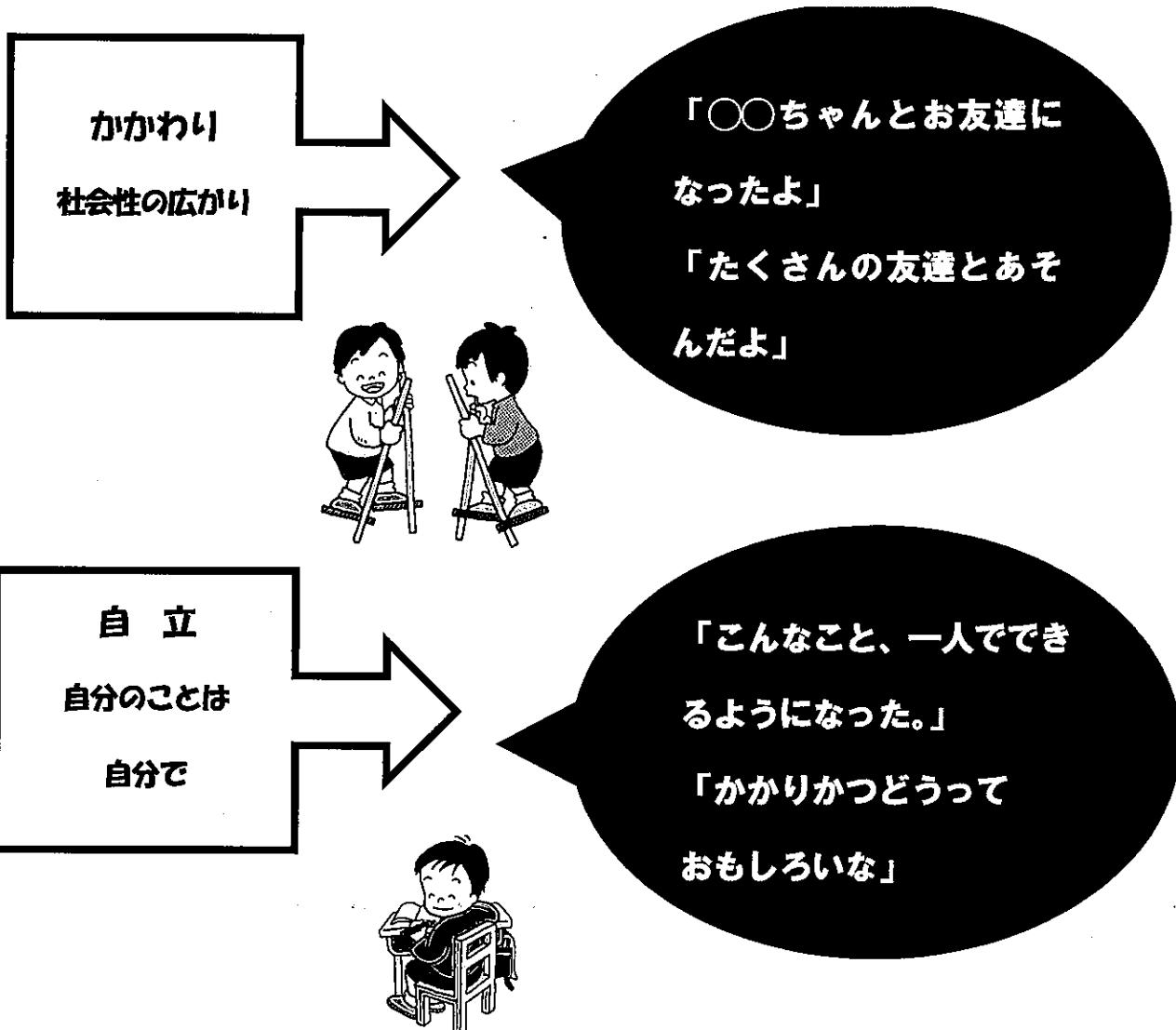
イ 生活科カリキュラムの改善

新学習指導要領総則では、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」との関連を考慮することが求められています。幼児期の学びと育ちを土台とし、小学校での自覺的な学びへ向かっていくよう、生活科を核として楽しいことや好きなことに没頭する中で生じた驚きや発見を大切にし、学ぶ意欲が高まるように活動を構成することが求められています。

(a) 資質・能力の育成に向けた指導の充実・改善

4つの視点を意識した指導により、資質・能力を育成していく。





(b)指導計画の作成・単元の構想（新学習指導要領 生活科解説より）

☆作成(構想)時の配慮点

生活科においては、一人一人の思いや願いから活動や体験をし、対象に直接関わることで感じ考えることを大切にする。そして、それらを表現することで整理を加えていく、学習の潜在的な価値を現実のものにしていく。その際、教師の適切な指導によって、児童中心の学習を進めていくには、特に以下の三つのことには配慮する必要がある。

- ①具体的な活動や体験が十分にできる時間を保障すること
- ②主体的な活動の広がりや深まりを可能にする空間的な視点をもつこと
- ③学習の対象にじっくりと安心して関わることのできる心理的な余裕をもつこと

☆生活科の学習課程

生活科においては、一連の学習活動の「まとめり」としての単元の中で、体験活動と表現活動とが繰り返されることで、児童の学びの質を高めていく。活動や体験を行うことが前提ではあるが、見方・考え方を生かして、学年らしい思考や認識や意欲等を確かに育成し、次の活動へつなげる学習活動を重視する必要がある。活動や体験は、教師の指示からではなく、児童の思いや願いから始まらなければならない。(中略) 例えば、以下の学習過程を基本にし、何度も繰り返される中で、児童一人一人の深い学びを作り出し、気付きの質を高めていく。

- ①思いや願いをもつ
- ②活動や体験をする
- ③感じる・考える
- ④表現する・行為する（伝え合う・振り返る）

(資料5参照)

先輩先生からの
ワンポイントアドバイス！

子どもも教師もわくわくするような授業を！

幼児教育と学校教育の接続の最も重要なポイントは、「幼児期に遊びを通して育まれた自発性を、どう学習意欲へと転化させていくか」だと考えています。幼児教育で保育者が意図する遊びに誘う環境構成は、その大きなヒントとなります。幼児期の遊びと教科との結節点となるのが生活科であり、その改善は接続の大きな鍵です。今回作成した単元構想を手引きに、子どもも教師もワクワクする生活科の授業が各校で展開されればと願っています。



ウ ねらいを明確にした交流体験活動

これまでから、小1 プロブレム解消を主な目的とした「もうすぐ1年生」体験入学推進事業により、各学校で様々な交流体験活動等が行われています。これからは、幼小で一貫した資質・能力を育成するという観点から、幼小それぞれのねらいを明確にし、交流体験活動等を見直していくことが大切です。

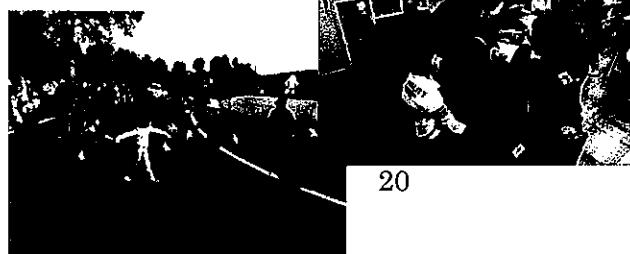
(a) 交流活動の課題とこれからの方針

幼児と児童との交流は、小学校への円滑な接続に有効であるだけではなく、お互いに関わることの良さや楽しさを実感し、幼児や児童の学びを広げたり深めたりすることにもとても有効な機会になります。

例えば、小学校への入学に対して不安を抱いていた幼児が、小学生や小学校の生活に実際に触れることによって、入学を待ち遠しく感じるようになったり、児童に対して憧れの気持ちをもったりするようになります。それだけではなく、小学校で見たことや体験したこと遊びに取り入れたり、言葉や表現への関心が高まったりします。

また、児童にとっても、年下の幼児と関わる中で、「相手の気持ちを考えよう」「分かりやすく伝えよう」といった気持ちが生まれ、思いやりの心を育むだけでなく、相手を意識した活動を工夫したり自己の成長に気付いたりするようになります。

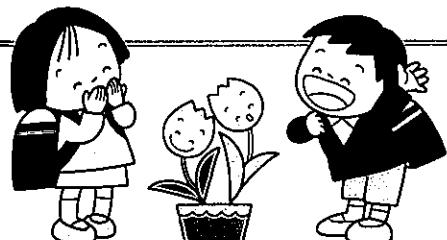
これまで、小1 プロブレムの解消を主眼に、小学校への「慣れ」に重きを置いた体験活動が多く見られましたが、学びを広げたり深めたりする有効な機会であることを踏まえ、幼児と児童双方の資質・能力の育成を念頭に、交流体験活動を豊かにすることが大切です。



(b) 交流活動を計画する上での留意点

- ①イベント的な単発の活動で終わらせない。次の活動や交流が楽しみになるような継続性のある計画を立てましょう。
- ②小学校サイドの計画に、幼稚園・認定こども園・保育所(園)が参加をするのではなく、教師や保育士が話し合い、活動内容を作っていきましょう。
- ③それぞれのねらいが実現できるよう交流する子どもの姿を思い浮かべ、内容や環境づくり、支援について考えていきましょう。
- ④交流活動シートを活用し、活動終了後に合同で振り返りを行い、次の活動に生かしていきましょう。
- ⑤公開授業や公開保育の機会を利用し、日頃から教育・保育内容を知り、教職員の交流を深めておきましょう。

(資料6を参照)



資料

資料 1 大カリキュラム例

資料 2 中カリキュラム例

資料 3 アプローチカリキュラム例

資料 4 スタートカリキュラム例

資料 5 生活科単元構成例(1年生4月～7月)

資料 6 保幼小交流体験活動例



資料 1

大カリキュラム例

接続カリキュラム(大)

資料1

期間	テーマ	9・10・11・12月 友達と一緒に遊ぶで楽しいがな	1・2・3月 力を合わせてやつてみよう	4・5月 学校だいすき・友達できたよ	入学 幼児期の終わりまでに 新しい環境に慣れ学校や学級の中で安心して過ごす	修了 ○友達と一緒に活動を進めていくことを楽しむ ○遊びや生活中で役割を分担し、やり遂げる喜びを味わう ○一年生になると友達と一緒に生活を意図的に選ぶ
自立	食事のマナーが分からずして食べることをしようとする 園・所の生活の流れに合わせて行動する 様々な身体の機能を動かして遊ぶ 自分の身体に開心をもつ。	マナーを守って時間内に食事をしようとする 園・所の生活に開心をもち、行動する 十分に身体を動かして遊ぶ 娘妹や友人に開心をもつ。	基本的な生活習慣を身に付け込んで取り組もうとする おきめはず最後までやり遂げようとする 友達との会話を通して新しい考えを生み出す	自然の美しさ不思議さを感じ興味関心を深める 遊びを通して生活に必要な文字や数字等で表す 苦手なことには挑戦する	幼児期の終わりまでに育つてほしい姿 ○新しい環境の目的をもつて活動を進めていくことを楽しむ ○友達と一緒に活動を楽しむため生活や学習を行ったりする ○友達と一緒に活動を楽しむことで生活を豊かにしたりする ○友達と一緒に活動を楽しむことで取り組むことができる	○自分の力を発揮し、友達と一緒に活動にすりを感じる ○友達と一緒に活動を楽しんだり学級の出来事を行ったりする ○友達と一緒に活動を楽しむことで取り組むことができる
意欲	友達の考え方を知り入れようとする 身近な事象に開心をもつ	自分で考えて行動しようとする 友達の考え方を生み出す	自然の美しさ不思議さを感じ興味関心を深める 遊びを通して生活に必要な文字や数字等で表す 苦手なことには挑戦する	遊びを通して生活に必要な文字や数字等で表す 苦手なことには挑戦する	言葉や図形、操作文などへ の関心、態度 言葉による 伝え合い	言葉や文字、姿などに慣れしみ、生活の場面で進んで活用する 苦手なことは最後までやり遂げようとする いつとことでだれとなどを意識し、相手に分かりやすく話すそぞる 相手の話を聞き、言葉で自分の思いを伝えようとする 豊かな 感性表現
言葉・表現	友達の思いや自分と違う考え方を受け入れようとする 友達と一緒に動きを楽しんだり、表現したりする中で楽しさを感じる 絵本やお話に興味をもち、見たり聞いたりすることを楽しむ 自分の思いを伸び伸び表現する	友達の思いや自分と違う考え方を受け入れようとする 友達と一緒に作り合って遊びを進めるようとする 自分の思いを伝えたり、折り合いをつけて遊びを進めるようとする 自分の思いを感じたり、お前の世界を楽しんだりし、イメージを豊かにする	共通の目的意識をもち、開心をもって話を聞いたり思いを伝えたりする 自分の思いを相手に伝わやすくする 協力して友達と一緒に作り表現したりしようとすると 曲線を感じたり、お前の世界を楽しんだりし、イメージを豊かにする	友達と一緒に活動を進めて取り組む 自分の役割が分かり、友達と一緒に活動する 身近な人に、親しみや思いやりの気持ちをもつ 自分の生む地域に興味・開心をもち、親しみを感じる 必要なルールを作ったり、守ったりしようとする	○自分の力を発揮し、友達と一緒に活動する ○友達と一緒に活動を楽しむことで取り組むことができる ○友達と一緒に活動を楽しむことで取り組むことができる ○友達と一緒に活動を楽しむことで取り組むことができる ○友達と一緒に活動を楽しむことで取り組むことができる ○友達と一緒に活動を楽しむことで取り組むことができる	○自分の力を発揮し、友達と一緒に活動する ○友達と一緒に活動を楽しむことで取り組むことができる ○友達と一緒に活動を楽しむことで取り組むことができる ○友達と一緒に活動を楽しむことで取り組むことができる ○友達と一緒に活動を楽しむことで取り組むことができる ○友達と一緒に活動を楽しむことで取り組むことができる
点	かかわり	友達とお互いを認め合う 身近な人と開けたり、思いを共有する 共同、共有の物の大切に扱い、マナーや約束を守ろうとする よいことと悪いことに気付き、行動しようとする	友達と一緒に活動を進めて取り組む 自分の役割を果たすとする 相手の思いに気付き、温かい心で接する 身近な地域や人に慣れしみをもつ 自分の行動を振り返り、よいと思うことを守らうとする	新しい友達のよいところに気付く 必要な役割に気付き、友達とは力をする 自ら先生や友達に開けたりする 学校の生活環境を大切にしようとする 遊びや生活中に必要なおりを知る	○自分の役割を果たすとする ○相手の思いに気付き、温かい心で接する ○身近な地域や人に慣れしみをもつ ○自分の行動を振り返り、よいと思うことを守らうとする	○自分の役割を果たすとする ○相手の思いに気付き、温かい心で接する ○身近な地域や人に慣れしみをもつ ○自分の行動を振り返り、よいと思うことを守らうとする

接続カリキュラム(大)

期間	テーマ	9・10・11・12月 友達と一緒に遊ぶって楽しいな	1・2・3月 力を合わせてやってみよう	4・5月 学校だいすき・友達できたよ	6・7月 学校は楽しい！学びを深めよう！		
ねらい	自立	○遊びの中で自分の思いを表現させていく喜びを感じる ○自分の力を思り出して遊びや生活に取り組むことをする ○友達と考え方出会い、話し合いながら遊ぶが楽しめる喜びを味わう 食事のマナーが分かれ楽んで食事をしようとする	○友達と共に遊びの目的をもって活動を進めていくことを楽しむ ○遊びや生活の中での役割を分担し、やや遅れる喜びを味わう ○一年生になれる喜びを感じながら園生活を楽しめる喜びを味わう マナーを守って時間内に食事をしようとする	幼稚園の終わりまでに育つてほしい姿 ○新しい環境に慣れる学年や学級の中で安心して過ごす ○学校の一員としての意識をもち、友達と一緒に過ごすことを楽しむ ○長年の嗜めの方に慣れることで話題を聞いたり話題したりする 給食のマナーが分かれ、楽しい家庭の中でも食しようとする	○自分の力を発揮し、友達と一緒に過ごす喜びを感じる ○友達といいふら活動を楽しんだり学級の仕事を行ったりする ○友達と考えや気もちを出し合い、生活や学習に貢献しようとする マナーを守って食を時間内外に食べることがができる。		
意	表現	図・表の生活の流れに合わせて行動する 様々な身体の機能を動かして遊ぶ 自分の身体に 관심をもつ 自分でできることは自分自身で考えます 友達の考え方 身近なことに关怀をもつ	十分に身体を動かして遊ぶ 十分に身体を動かして遊ぶ 命や安全に关怀をもつ 命や安全に关怀をもつ 命や安全に关怀をもつ 命や安全に关怀をもつ 命や安全に关怀をもつ 命や安全に关怀をもつ 命や安全に关怀をもつ 命や安全に关怀をもつ 命や安全に关怀をもつ 命や安全に关怀をもつ	接続期を大きく見通して、各時期に目指したい保育・教育の「テーマ」を考え、具体的な「ねらい」を立てましょう！ 10の姿を4つの観点で構成しています。 縦に見るとその時期の子どもたちの姿イメージできます。横に見ると子供の姿の変化をイメージできます。	図・表の生活に关怀をもち、行動する 周りに合わせて行動する 健康や安全に気をつけ 学習等の準備や片付け しなければならないことの一気呵成をする クラスの友達の考えに触れる中で様々な考え方があることに気づく 動物の世話を進んでしまうとする 生き物に親しみをもち、命を大切にする	幼児期の終わりまでに育つてほしい姿 ○新しい環境に慣れる学年や学級の中で安心して過ごす ○学校の一員としての意識をもち、友達と一緒に過ごすことを楽しむ ○長年の嗜めの方に慣れることで話題を聞いたり話題したりする 給食のマナーが分かれ、楽しい家庭の中でも食しようとする	○自分の力を発揮し、友達と一緒に過ごす喜びを感じる ○友達といいふら活動を楽しんだり学級の仕事を行ったりする ○友達と考えや気もちを出し合い、生活や学習に貢献しようとする マナーを守って食を時間内外に食べることがができる。

接続力リキュラム(大)

資料 2

中カリキュラム例

ね
ら
い

- 遊びの中で自分の思いを実現させていく喜びを感じる
- 自分の力を思いきり出して遊びや生活に取り組もうとする
- 友達と考えを出し合い話し合いながら遊びを進める楽しさを味わう

資料2

幼児の姿

☆友達と相談しながら自分達で遊びの場や内容を決め、自分の思いを出し、相手の思いも受け入れながら遊びを進めていく面白さを感じるようになってくる。

☆大きな行事を経験したことが自信となり、いろいろなことに積極的に取り組むようになる。また、互いに認め合い仲間意識が深まる。

☆落ち葉や木の実を集めたり、名前に関心をもったり、使って遊んだりすることを通して自然物に対して積極的に働きかけ、数量の感覚を育んだり、生活や遊びに取り入れていこうとしたりする姿がみられる。

☆自分の考えと友達の考えの違いに気付き、折り合いをつけながら一緒に行動するようになる。

4つの視点		◇環境作り ※保育者の関わり	活動・行事
自立	食ことのマナーが分かり楽しんで食ことをしようとする 園・所の生活の流れに合わせて行動する 様々な身体の機能を動かして遊ぶ 自分の身体に関心をもつ 自分でできることは自分でしようとする 自分で考えて行動しようとする	<ul style="list-style-type: none"> ◇生活の流れがわかるようなカレンダーやスケジュールなどの掲示をしておく。 ◇健康診断や身体測定を受け、自分の体を大切にしなければならないことに気付けるようにする。 ◇全身を使う運動と適度な休息を取りいれながら、心身の疲れをいやし、健康にすごせるようにする。 ※食に関わる体験を積み重ねることで、みんなで食べる楽しさやマナーの大切さに気づけるようになる。 ※自分でできることの喜びや自信に共感し、子供が自ら選択して行動できるようにする。 ※自分でしようとする意欲や姿勢を十分に見守り、認めていく。 	落ち葉・どんぐり拾い 自然物を使った製作 鬼ごっこ（色鬼等）
意欲	友達の考えを知り取り入れようとする 身近なこと象に関心をもつ 生活や遊びの中で文字や図形・数量への興味関心をもつ 苦手なことにも挑戦しようとする	<ul style="list-style-type: none"> ◇身近な草花や生き物に親しみ、自然への好奇心を育む経験ができるようにする。 ◇季節の変化を感じたり、自然物を遊びに取り入れたり、子供の気付きをクラスで共有できる環境をつくる。 ◇生活や遊びの中で图形・数量の感覚が育まれるような機会をつくる。 ◇身近なものの名前、歌詞などをひらがなで書いて掲示しておくなど、自然と文字に関心がもてるようになる。 ※子供同士の意見のやりとりを促し、思いやイメージが共有できるよう仲立ちする。 ※友だちと励ましあったり、お互いの良さを認め合ったりできるような環境づくりをし、苦手なことにも安心して取りくめるようになる。 ※心の育ちを温かく見守り、自信や自己肯定感が育まれるよう関わる。 	昔遊び お店屋さんごっこ 楽器あそび なわとび マラソンごっこ
言葉・表現	友達の思いや自分と違う考え方を受け入れようとする 互いの思いを伝え合い、遊びを進めようとする 友達と同じ動きを楽しんだり、表現したりする 中で楽しさを感じる 絵本やお話を興味をもち、見たり聞いたりすることを楽しむ 自分の思いを伸び伸びと表現する	<ul style="list-style-type: none"> ◇ごっこ遊びを通して必要な言葉のやりとりをしたり、文字や数字に興味をもち遊びに取り入れたりする。 ◇自然と体が動くような表現しやすい曲線を選び、繰り返し楽しめるよう環境を用意する。 ※遊びの中で思いを出し合う姿を認め、思いが伝わりやすいように援助する。 ※互いの思いを伝えながら、折り合いをつける経験ができるようになる。 ※思ったことを言葉で伝えながら友達と一緒に考えたり工夫したりできるように援助する。 ※幼児と一緒に考えた表現や動きを取り入れ、友達と一緒に表現を構成していく楽しさが味わえるようになる。 ※いろいろなお話や絵本、素話などを聞いたり、そのものに触れたり経験したりして、よりイメージが膨らみ心動くよう活動や環境を工夫する。 ※思ったことや感じたことを自分なりに表現し、その楽しさが味わえるよう、題材や材料、経験など工夫する。 ※言葉や表現をしっかりと受けとめ応えていくことで、安心して自分の思いを表すことができるようになる。 	運動会 バス遠足 生活発表会 クリスマス会 大そうじ
かかわり	友達と互いの良さを認め合う 友達と力を合わせて、遊びを進めようとする 身近な人と関わり、思いを共有する 共同・共有の物を大切に扱い、マナーや約束を守ろうとする よいことと悪いことに気付き、行動しようとする	<ul style="list-style-type: none"> ◇自分や友達のよさに気付けるように、幼児のよい姿を認めたり、他児に知らせたりする場や機会をもつ。 ◇友達と考えや思いを出し合う必要がある遊びの環境や機会をもつ。 ◇自分たちで正しく使ったり、片付けたりができるよう、用具を分類・整理しておく。 ※身近な人や地域の人と関わる楽しさを共有したり、心地よさを感じたりできるように関わり方を知らせる。 ※様々な場面での言動についてクラスで話し合い、相手の気持ちやどのようにすればよいのか幼児自らが気付けるよう、声を掛けたり、話し合う場をもったりする中で自分と身近な人を大切にしようとする気持ちが育まれるようにする。 ※遊具や用具等の正しい扱い方を知らせ、所持品や共有の物を安全に、また大切に使うことができるようになる。 	

家庭連携

行事に向け、がんばっている過程を認めてもらえるように、連絡帳等で日々の様子を伝える。

心身の疲れが出やすい時期のため、一人一人に応じた生活リズムの整え方や、情緒の安定の図り方について話し合う機会を作る。

保護者がもつ就学や子供の発達についての不安な気持ちをくみとり、前向きな気持ちをもっていただけるように関わる。

小学校連携

保育参観や教師・保育士の交流の機会をもつ。

小学校の運動会に招待をし、小学校の雰囲気を味わわせる。

1月・2月・3月 テーマ 力を合わせてやってみよう

ね
ら
い

- 友達と共に目的をもって活動を進めていくことを楽しむ
- 遊びや生活中で役割を分担し、やり遂げる喜びを味わう
- 一年生になる喜びを感じながら園生活を意欲的に過ごす

幼
児
の姿

- ☆ いろいろな場面で友達と共に目的をもつことにより、自分なりに最後まで頑張ろうとする気持ちをもつようになる。
- ☆ 友達と遊びを進める中で、教え合ったり励まし合ったりしながら互いのよさを受け止めしていくようになる。
- ☆ 個人差はあるが、文字への関心が高まり、自分で絵本を読んだり友達と手紙のやりとりをしたりするなど文字を使った遊びが増えてくる。
- ☆ 一年生になるという自覚と期待感が強くなり、何ことも頑張ってしようとする前向きな態度がみられる。一方不安になる幼児もいる。

4つの視点		◇環境作り ◇保育者の関わり	活動・行事
自立	<p>マナーを守って時間内に食事をしようとする 園・所の生活に关心をもち、行動する</p> <p>十分に身体を動かして遊ぶ 健康や安全に关心をもつ</p> <p>基本的な生活習慣を身に付け進んで取り組もうとする</p> <p>あきらめず最後までやり遂げようとする</p>	<p>◇日にちや時間の流れがわかり、生活に見通しがもてるような掲示物を工夫する。</p> <p>◇戸外で身体の機能を充分に動かして幅広い遊びを経験できるような場を工夫する。</p> <p>※今やるべきことを判断し、活動しようとする気持ちを見守る。</p> <p>※自然や生活の変化に応じて、健康で安全に過ごすためにはどうすればよいか自ら考えられるように関わる。</p> <p>※食事・排便・睡眠等の大切さを知らせ、意識をもてるようにする。</p> <p>※片付けや清潔にすることの必要性がわかり、自ら取り組めるように援助する。</p> <p>※成し遂げようとしたことに最後まで諦めず取り組み、自信につながるようにする。</p>	<p>正月遊び</p> <ul style="list-style-type: none"> ・かるた ・すごろく ・こまわし ・麻揚げ <p>カードゲームをする</p> <ul style="list-style-type: none"> ・坊主めくり ・トランプ
意欲	<p>友達との対話を通して新しい考えを生み出す 自然の美しさ不思議を感じ興味関心を深める</p> <p>遊びを通して生活に必要な文字や数字に親しむ 苦手なことにも挑戦する</p>	<p>◇木々の芽吹きや花の蕾から生命力や自然の力等を感じられるような環境を作る。</p> <p>◇遊びや生活の中で数えたり比べたりする機会を取り入れ、数量に关心がもてるようにする。</p> <p>◇生活の中で必要な文字の習得が出来るように環境を整え、关心がもてるようする。</p> <p>◇いろいろな用具遊具を適材適所に選び、それらの特性に応じた使用の機会を増やす。</p> <p>※人の考えを取り入れることにより、刺激を受けて物ことを理解・発展できるような援助をする。</p> <p>※動植物の世話の引き継ぎをする際、大切な思いや丁寧な扱い方等を文字や絵にして伝える機会を作る。</p> <p>※実行するところまで丁寧に関わり、認めたり励ましたりして、自信や責任感につながるようにする。</p> <p>※心の育ちを温かく見守り、自信をもち主体的に活動する意欲が高まるように関わる。</p>	<p>わらべうた遊び</p> <p>楽器遊び</p> <p>手紙を書いて遊ぶ</p> <p>学校ごっこ</p>
言葉・表現	<p>共通の目的意識をもち、関心をもって話を聞いたり思いを伝えたりする 自分の思いを相手に伝わりやすいように話す 協力して友達と一緒に作ったり表現したりしようとする</p> <p>曲想を感じたり、お話の世界を楽しんだりし、イメージを豊かにする</p>	<p>◇遊びや生活の中で言葉を選んだり考えたりする機会を作る。</p> <p>◇安心して自分の思いを表すことができる環境の中、身近な人と言葉や表現により心を通わせる喜びを味わえるようにする。</p> <p>◇題材に応じた用具を使い、感じたことやイメージしたことを、描いたり作ったりして表現できるようにする。</p> <p>◇音楽に合わせて楽器でリズムをとったり、身体全体で表現したりして遊ぶ場を作る。</p> <p>◇絵本や物語等に触れ、文字の羅列にならないよう言葉の意味や温かさ、内容の楽しさが味わえるようにする。</p> <p>※言葉の強弱から、相手の思いを感じ取れるよう援助する。</p> <p>※心地よい言葉を使うことにより、友達と仲良くなる体験を重ね、意識して使えるようにする。</p> <p>※いろいろな曲想を感じながら歌う経験ができるようする。</p> <p>※人に伝えたい、描きたい等、表現したくなるような感動体験が積み重ねられるようする。</p>	<p>ドッジボール</p> <p>鬼ごっこ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ケイドロ ・氷鬼 <p>マラソンごっこ</p> <p>発表会</p> <p>豆まき</p>
かかわり	<p>友達と共に目的をもち、やり遂げる喜びを味わう 自分の役割が分かり、友達と協力して遊びを進め 身近な人に、親しみや思いやりの気持ちをもつ 自分の住む地域に興味・関心をもち、親しみを感じる 必要なルールを作ったり、守ったりしようとする</p>	<p>◇地域の出来ことや、遊びや生活に必要な情報を取り入れ友達と伝え合う機会をもつ。</p> <p>◇場や人に応じた態度で参加したり、話したりする力をつけられるような機会をもつ。</p> <p>◇小学校の入学に期待し、周りからの情報に关心をもてるよう掲示物などを工夫する。</p> <p>※よいこと、悪いことを自分なりに判断し行動する姿を褒めたり認めたりしながら、自信をもった生活ができるようする。</p> <p>※共通の目的に向かって役割分担をしたり、工夫したり助け合ったりしながら活動する中で、よさを認め合いながら、集団の一員であることを意識した生活ができるように関わる。</p> <p>※入学を目前にし、環境が変わっていくことを感じ取る中で、家族や周囲の期待に応えようとする姿を認める。</p> <p>※身近なルールや交通ルールの必要性がわかり、それらを守り安全に生活しようとする気持ちがもてるようする。</p>	<p>ひな祭り会</p> <p>お別れ会</p> <p>お別れ遠足</p> <p>修了式</p> <p>終業式</p>

家庭連携

一人一人の生活に合わせ、柔軟な対応をとりながら、家庭でも就学に向けて見通しをもった適切な規則正しい生活リズムが作られるよう働きかける。

これまでの園生活を振り返り、子供の成長を実感し、共に喜び合えるようにする。また、育児に対する労いの気持ちを伝え、保護者自身の成長についても振り返り、認める機会をつくる。

残り少ない園生活を充実して過ごせるように、進学への期待感を受け止め、ゆったりとした気持ちで子供を見守り支えてもらえるようにする。

進学に対して不安な気持ちを抱く幼児もいるので、小学校の具体的な様子を知らせ、楽しいイメージがもてるよう協力してもらう。

小学校連携

小学校のグランドで遊んだり、校舎内を見学したりする機会を設け、施設を知る 教師間でも授業や保育を参観し合い、児童、幼児の姿を把握する。

- ・書き初め展を見学
- ・マラソン大会応援
- ・給食体験
- ・合同作品展
- ・卒業生を祝う（卒業式にお花を渡す）
- ・出前授業

小学校の給食体験を通して、小学校給食の内容や味を知り、安心して食べられるようにする。 就学や育児不安がある家庭について申し送りをする。

4月・5月 テーマ 学校だいすき友達できたよ

ね
ら
い

児
童
の
姿

- 新しい環境に慣れ、学校や学級の中で安心して過ごす
- 学級の一員としての意識をもち、友達と過ごすことを楽しむ
- 授業の進め方に慣れ、喜んで話を聞いたり話したりする
- 小学生になった喜びと期待をもつ中で、基本的な生活習慣や学習習慣を身に付けようとする。
- 小学校の一員になった自覚が強くなる。
- 先生や友達と学校生活を送る中で、学校の施設やルールについて理解しようとする。
- 小学校での新しい生活に楽しみや期待をもち、様々な人や物に関わろうとする。

4つの視点		◇環境づくり ※教師の関わり（指導）	教科行事
自立	給食のマナーが分かり、楽しい雰囲気の中で食べようとする 学習の準備や片付けの仕方が分かる 周りに合わせて行動する 健康や安全に気をつけて生活を送ろうとする しなければならないことに気付き、行動しようとする	<ul style="list-style-type: none"> ◇一日の学校生活の流れが分かり、生活に見通しがもてるような掲示物を工夫する。 ◇安心安全に学校生活が送れるように絵や写真、図等の掲示物を使って視覚的に提示する。 ※学校での基本的な生活習慣が身につくように繰り返して丁寧に伝える。 ※イスの座り方、鉛筆の持ち方など教師が手本を見せるなどして、繰り返して丁寧に指導する。 ※給食の準備や後片付けの仕方を丁寧に指導することで、子供たち同士で協力して準備や後片付けができる習慣を身に付けさせる。 	入学式 地域仲良し会 一年生を迎える会 体力テスト 避難訓練 生活科 「いちねんせいになつたよ」 「がっこうとともにだち」 げんきにがっこうにいけるかな がっこうのいちにちはどうなつてているのかな こうでいもたんけんしてみよう たんけんしたことをみんなではなそう がっこうのまわりをあるいてみよう あんぜんにきをつけてかえれるかな 国語科 「あさ」「なんていおうかな」 どうぞよろしく」 国画工作 「すなやつちとなかよし」 「すなやつちでねんど」 音楽 「はくをかんじてりずむをうとう」 体育 「固定遊具をつかった運動遊び」 生活科 「ひとつぶのたねから」 たねをまこう せわをしよう みんなにつたえよう
意欲	クラスの友達の考えに触れる中で様々な考えがあることに気づこうとする 動植物の世話を進んでしようとする 感じたことや発見したことを絵や文字等で表す 苦手なことも最後までやり遂げようとする	<ul style="list-style-type: none"> ◇いつでも子供たちが安心して支援を求められるような、声かけや雰囲気、環境を整える。 ※一人一人の子供が係活動、当番活動の中で役割をもつことが、みんなの役に立っているということを自覚させることで、自信につなげる。 ※学校の周りの自然に親しんだり、友達と一緒に植物を育てたりするために環境を整える。 ※学んだことを自分の言葉や絵で表現できるように支援するとともに、互いに学び合える場の設定をする。 	
言葉・表現	いつどこでだれと等を意識し、相手に分かりやすく話そうとする 相手の話を聞き、言葉で自分の思いを伝えようとする 友達同士で表現する過程を楽しみ、意欲的に取り組もうとする 自分の思いや考えをもち、描いたり作ったりして進んで表現しようとする	<ul style="list-style-type: none"> ◇自分の思いや意見を朝の会でのスピーチ活動、授業の中でのペアやグループ学習等で常に表現できるような環境設定を工夫する。 ◇具体物、図や写真、文字を用いて教室に掲示し、常に意識できるようにする。 ◇さまざまな学習活動を友達と一緒にがんばれるように、グループ学習やペア学習など学ぶ場や形態等を工夫する。 ◇子供一人一人の個性や発想を引き出すために、日頃から読み聞かせを行ったり、休み時間でのふれあいやフリートークを大切にしたりする。 ◇子供一人一人の個性や発想を引き出すために、子供の描く自由画や図画工作等の表現活動も大切にする。 ※元気に挨拶や返事ができるように、指導者が自ら模範を示す。 ※発表のルール等を声のものさしや図や文字を用いて繰り返して丁寧に伝えることで習慣づける。 ※どの子供も自信をもって表現活動ができるように、発表した子供のよかつたところなど全体の前で認める。 ※授業や遊び、生活の中で、子供ができしたことやがんばりを認め、自信をもたせる。 	
かかわり	新しい友達のよいところに気づく 必要な役割に気付き、友達と協力する 自ら先生や友達に関わろうとする 学校生活環境を大切にしようとする 遊びや生活に必要なきまりを知る	<ul style="list-style-type: none"> ◇授業のまとめや振り返りの場、終わりの会等で互いのよさを認め合える場を設定する。 ◇グループ学習や当番活動、清掃活動等を通して友達を意識して活動できる場を設定する。 ◇授業時間だけではなく、休み時間も人間関係が広がるように全員遊び等を取り入れる。 ※自ら先生や友達に関わろうとする意欲をもたせるために、日常的な声かけや関わりを大切にする。 ※学校のルールや決まりを丁寧に指導する。 ※安心して学校生活がスタートできるように学校体制の中で全教職員が関わるようになる。 	

家庭との連携

家庭訪問や日々の連絡、学級通信等を通して家庭での生活態度を把握すると共に、学校生活の様子を知らせる。
学校で教えてること、学習の内容を家庭にも伝え、家庭と一緒に身に付けさせていく。

接続期工夫

地域ボランティア、PTAと連携を図り、子供の登下校の安全を見守る。
授業や生活の中で、保育所や幼稚園での遊びの要素を取り入れ、緊張感を和らげながら楽しめるようにする。
保幼小連絡会、連絡シート等により保育所、幼稚園での様子や家庭環境について情報交換する。

ね
ら
い

- 自分の力を發揮し、友達と一緒に過ごす喜びを感じる
- 友達といろいろな活動を楽しんだり学級の仕ことを行ったりする
- 友達と考えや気もちを出し合い、生活や学習に取り組もうとする

児童の姿

小学校生活にも一定慣れ、基本的な生活習慣や学習習慣が身に付き、見通しをもって生活が送れるようになる。一層学習や生活の意欲が高まる。

新しい友達ができたり、上級生との交流も増えたりして生活に広がりが出てくる。

教科書を使って教科学習に取り組み、文字や数字を書いたり、自分の言葉で表現できたりするようになる。

4つの視点		◇環境づくり ※教師の関わり(指導)	教科行事
自立	<p>マナーを守って給食を時間内に食べることができる チャイムに合わせて行動できる 健康や安全に気をつけて、見通しをもった規則正しい生活ができる 学習の準備や片付けを自分ですることができる しなければならないことに気付き、自分から進んで行動する</p>	<p>◇一日の学校生活の流れが分かり、生活に見通しがもてるように時間割表などの掲示物を工夫する。 ◇係活動や消掃当番等、子供たちが自らわかって動くことができるよう、視覚的に提示したり、意欲をもたせるような声かけ等工夫する。 ※食に関する意識が高まり、給食や家庭での食ことが健やかな体をつくるために必要なことであることを学習や日常生活の中で常に意識させる日常的に家庭や栄養教諭との連携をする。 ※学校での基本的な生活習慣を丁寧に伝え、確実に身につくように定期的に確認する。</p>	<p>プール開き 地域仲良し会 終業式 総割り班活動 生活科 「ひとつぶのたねから」 せわをしよう みんなにつたえよう 生活科 「さあみんなででかけよう」 なにをしてあそぼうかな みんなのあそびばでたのしもう たのしかったことをつたえよう 国語科 「ぶんをつくろう」 算数科 「こうえん」 音楽科 「うたでなかよしになろう」 「うたでさんぽ」 図画工作 「せんせいあのね」</p>
意欲	<p>クラスの友達の考えに触れる中で様々な考えがあることに気づく 生き物に親しみをもち、命を大切にする言葉や文字、数などに親しみ、生活的な場面で進んで活用する 苦手なことにも最後まで粘り強くやり遂げることができる</p>	<p>◇さまざまな学習活動を友達と一緒にがんばれるように、グループ学習やペア学習など学ぶ場や方法を工夫する。 ◇図や文字を用いて学んだ内容を教室に掲示したり、子供同士が学習のまとめを共有できる場を設定したりして、常に意識できるようにする。 ※授業や遊び、生活の中で、子供ができたことを認め、自信をもたせる。 ※子供々のよさが認め合えるように、全体の場で評価する。 ※学校の周りの自然に親しんだり、友達と一緒に植物を育てたりする。</p>	
言葉・表現	<p>相手や場に応じて適切に伝えることができる 先生や友達とのやりとりの中で言葉の意味を理解しようとしたり相手に分かるように伝えたりすることができる 友達同士で表現する過程を楽しみ、進んで伝え合うことができる 気づいたことや発見したことを言葉や絵を使って豊かに表現できる</p>	<p>◇声のものさし、発表のルール等の図や文字を用いて教室に掲示し、常に意識できるようにする。 ◇日頃から子供たちが安心して支援を求められるような、声かけや雰囲気、環境を整える。 ◇どの子供も自分の思いや意見を朝の会でのスピーチ活動、授業の中でのペアやグループ学習等で常に表現できるように工夫する。 ◇学んだり、発見したりしたことを自分の言葉や絵で表現し、互いに学び合える環境を整える。 ◇子供たちが自ら表現したくなるような体験活動や表現する時間の設定を行う。 ※個々の学びの様子を常にチェックし、個別に配慮が必要な子供については日常的に声をかけたり、ヒントを与えたりする。 ※発表した子供のよかつたところなど全体の前で評価する。</p>	
かかわり	<p>友達と協力して生活や学習を進めることができる 自分の役割を果たそうとする 相手の思いに気付き、温かい心で接する 身近な地域や人に親しみをもつ 遊びや生活に必要なきまりを守ろうとする</p>	<p>◇グループ学習や当番活動、清掃活動等を通して友達を意識して活動できる場を設定する。 ◇授業や終わりの会等で互いのよさを認め合える場を設定する。 ◇授業時間だけではなく、休み時間も人間関係が広がるように全員遊び等を取り入れる。 ◇学習や生活中に地域の人や行事、情報を取り入れ、地域に親しむ機会を設定する。 ※総割り集会や活動の中で、他学年の子供たちからの声かけや関わりを通して、自ら様々な人に関わろうとする意欲をもたせる。 ※学校や、クラスのきまりについて子供たちの間で確立できるよう支援する。 ※善悪の判断について、自分なりに判断し行動する姿を、全体の場で評価する。</p>	

家庭との連携

家庭訪問や日々の連絡、学級通信等を通して家庭での生活態度を把握すると共に、学校生活の様子を知らせる。
学習の準備や宿題、家庭学習など自らできるよう、家庭との連携を密にする。

接続期工夫

地域ボランティア、PTAと連携を図り、子供の登下校の安全を見守る。
保幼小連絡会、連絡シート等により保育所、幼稚園での様子や家庭環境について情報交換する。
学習や生活中で、幼稚園や保育所で行ってきた遊びの要素を取り入れ、子供同士の中で広がりを作る。

1月・2月・3月 テーマ 力を合わせてやってみよう

- 友達と共に目的をもって活動を進めていくことを楽しむ
- 遊びや生活の中で役割を分担し、やり遂げる喜びを味わう
- 一年生になる喜びを感じながら園生活を意欲的に過ごす

☆ いろいろな場面で友達と共に目的をもつことにより、自分なりに最後まで頑張ろうとする気持ちをもつようになる。

友達と遊びを進める中で、教え合ったり励まし合ったりしながら互いのよさを受け止め合う。

☆ 文字への関心はあるが、文字への関心が高まり、自分で絵本を読んだり友達と一緒に読みあわせる。

☆ おもむろに行動するという自覚と期待感が強くなり、何とも頑張っていこうとする。

ね
ら
い

幼
児
の
姿

自
立

指導がイメージしやすいように、この
時期の保育・教育で大切にしたいこと
を「テーマ・ねらい」と表していま
す。 幼児の姿と合わせて指導をイメー
ジしてみましょう。

意
欲

友達
自然の大
きな世界
遊びを通して生活に必要な大
きな経験を積む
苦手なことにも挑戦する

遊びから生命力や自然の力等を感じられるような環境を作る。
中で数えたり比べたりする機会を取り入れ、数量に関心がもてるようになる。
中で必要な文字の習得が出来るように環境を整え、関心がもてるようになる。
いろいろな用具道具を適材適所に遊び、それらの特性に応じた使用の機会を増やす。
※人の考えを取り入れることにより、刺激を受けて物ごとを理解・発展できるような援助をする。
※動植物の世話の引き継ぎをする際、大切な思いや丁寧な扱い方等を文字や絵にして伝える機会を作る。
※実行するところまで丁寧に関わり、認めたり励ましたりして、自信や責任感につながるようになる。
※心の育ちを温かく見守り、自信をもつて成長できるように関わる。

言
葉
・
表
現

共通の目的意識をもち、関心をもって話を聞いたり思いを伝えたりする
自分の思いを相手に伝わりやすいように話す
協力して友達と一緒に作ったり表現したりしようとする
曲想を感じたり、お話の世界を楽しんだりし、イメージを豊かにする

◇遊びや生活の中でも、自分の意見を述べたり、喜んでいたりする。
◇安心して自分の意見を述べたり、喜んでいたりする。
◇題材に応じて、自分の意見を述べたり、喜んでいたりする。
◇音楽に合わせて歌ったり踊ったりする。
◇絵本や物語等に触れ、文字の読み方や読み方を学ぶ。
◇言葉の強弱から、相手の思いを感じ取れるよう援助する。
※心地よい言葉を使うことにより、友達と仲良くなる体験を重ね、意識して使えるようになる。
※いろいろな曲想を感じながら歌う経験ができるようになる。
※人に伝えたい、描きたい等、表現したくなるような感動体験が積み重ねられるようになる。

か
か
わ
り

友達と共に目的をもち、やり遂げる喜びを味わう
自分の役割が分かり、友達と協力して遊びを進める
身近な人に、親しみや思いやりの気持ちをもつ
自分の住む地域に興味・関心をもち、親しみを感じる
必要なルールを作ったり、守ったりしようとする

◇地域の出来ことや、遊びや生活に必要な情報を取り入れ友達と伝え合う機会をもつ。
◇場や人に応じた態度で参加したり、話したりする力をつけられるような機会をもつ。
◇小学校の入学に期待し、周りからの情報に関心をもてるよう掲示物などを工夫する。
※よいこと、悪いことを自分なりに判断し行動する姿を褒めたり認めたりしながら、自信をもった生活ができるようになる。
※共通の目的に向かって役割分担をしたり、工夫したり助け合ったりしながら活動する中で、よさを認め合いながら、集団の一員であることを意識した生活ができるようになる。
※入学を目前にし、環境が変わっていくことを感じ取る中で、家族や周囲の期待に応えようとする姿を認める。
※身近なルールや交通ルールの必要性がわかり、それらを守り安全に生活しようとする気持ちがもてるようになる。

家庭連携

一人一人の生活に合わせ、柔軟な対応をとりながら、家庭でも就学に向けて見通しをもった適切な規則正しい生活リズムが作られるよう働きかける。

これまでの園生活を振り返り、子供の成長を実感し、共に喜び合えるようにする。また、育児に対する労いの気持ちを伝え、保護者自身の成長についても振り返り、認める機会をつくる。

残り少ない園生活を充実して過ごせるように、進学への期待感を受け止め、ゆったりとした気持ちで子供を見守り支えてもらえるようにする。

進学に対して不安な気持ちを抱く幼児もいるので、小学校の具体的な様子を知らせ、楽しいイメージがもてるよう協力してもらう。

小学校連携

小学校のグランドで遊んだり、校舎内を見学したりする機会を設け、施設を知る 教師間でも授業や保育を参観し合い、児童、幼児の姿を把握する。

・書き初め展を見学 ・マラソン大会応援 ・給食体験 ・合同作品展 ・卒業生を祝う（卒業式にお花を渡す） ・出前授業

小学校の給食体験を通して、小学校給食の内容や味を知り、安心して食べられるようにする。 就学や育児不安がある家庭について申し送りをする。

・ままわし
・風揚げ

カードゲームを
する
・坊主めくり
・トランプ

わらべうた遊び
樂器遊び

手紙を書いて遊
ぶ
学校ごっこ

ドッジボール
鬼ごっこ
・ケイドロ
・氷鬼

マラソンごっこ
発表会
豆まき

ひな祭り会
お別れ会
お別れ遠足
修了式
終業式

保育・単元を構想する時に子供の実態

に合わせて具体化しましょう。

資料 3

アプローチカリキュラム例

月
ねらい
児童の姿

月
○○○

テーマ

4つの視点

◇環境づくり ※教師の関わり（指導）

教科行事

自立		
意欲		
言葉表現		
かかわり		

家庭との連携

接続期工夫

資料 3

テーマ 『友達と思いや考えを出し合いながら一緒に遊びを楽しもう』

活動(遊び) お店屋さんごっこに必要なものを作り、お店屋さんごっこを楽しもう

- ねらい ○ 友達と互いに思いや考えを出し合い一緒に遊びを進めていくことを楽しむ
○ 友達と工夫しながら作ったり売り方や遊び方を考えたりする

- 内容 ○ 自分の思いを伝えたり、相手の話を聞いたりしてやりとりを楽しむ

保育者の願い・互いの思いを伝え合い、考えを出し合って遊びを進めてほしい。

5領域のねらい

- 健康 ・自分の力を発揮し、満足感や達成感を味わう
人間関係 ・同じ目的をもち、友達と一緒に遊びを進めていく
環境 ・遊びを通して、文字や数量、図形、言葉などに
関心をもつ
言葉 ・役になりきって言葉のやりとりを楽しむ
表現 ・遊びに必要なものを考え、工夫したり作ったりして
遊ぶことを楽しむ

4つの視点

- 自立 ・遊びに期待と見通しをもって取り組もうとする
意欲 ・遊びの中で文字や図形・数量への興味関心をもつ
言葉・表現 ・友達の考えを知り、取り入れようとする
・互いの思いを伝え合い、折り合いを付けて遊びを進め
ようとする
かかわり ・役になりきって言葉のやりとりを楽しむ

これまでの遊びとつながり

砂遊び、自然物や身近な
素材を使って作って遊ぶ
いろいろな材料や素材に触
れて遊び、試したり工夫したり
しながら製作を楽しむ

ごっこ、表現遊び、
リスム遊び
友達とイメージを共有しな
がら、役になりきって様々
なごっこ遊びを楽しむ

- ・作ったもの遊びに取り入れ遊ぶ
・作ったもの、見立てたもので友達とやりとりを楽しむ
・見てもらう喜びを感じたり、友達を見て楽しんだりする
・友達とやりとりしているうちにもっとたくさんのものや
必要なものを感じ作り足す など

環境設定のポイント



- 経験してきた遊びを活かす
○活動の見通しをもって遊べる掲示物の工夫
○イメージが実現できるような素材の提示
○必要と感じた時に作れる材料の準備
○明日へ遊びがつながる片付けの場の設定

保育者の援助のポイント

- クラス全体で活動を進めている意識がもてる話し合いや振り返り
○自分達で考えたり工夫したりしている姿の認め
○アイデアやイメージを実現する楽しさを感じられる共感
○異年齢の友達との仲立ち

活動(遊び)の幼児の姿

- ・様々な素材や用具を利用し、イメージしたもの
を実現しようとする
・友達と思いや考えを出し、役割を決めて遊びを
進める
・遊びに必要な言葉のやりとりを楽しむ
・異年齢の友達を誘い、関わりを楽しむ

事例 「お店屋さんごっこをしよう」

		接続期のポイント
ねらい	○友達と互いに思いを出し合い、一緒に遊びを進めていくことを楽しむ	
内容	○同じお店屋さんをする友達と一緒に工夫しながら作ったり、売り方や遊び方を考えたりする ○自分の思いを伝えたり、相手の話を聞いたりしてやりとりを楽しむ	・身近な事象に关心をもち、遊びに取り入れる。 (自然とのかかわり)
幼児の活動	○お店屋さんごっこに必要なもので今日作るものについて話し合う。 ○話し合いの中で出てきたものを身近な素材や自然物を使って見立てて製作する。 ○自分たちのお店屋さんの進み具合を友達にも知らせ、共有する。 ○売ったり、買ったりするのに必要な言葉を使い友達とやりとりをする。	・生活や遊びの中で文字や図形・数量への興味 関心をもつ。 (数量・図形・文字への関心) ・ごっこ遊びを通して必要な言葉のやりとりをする。 (言葉による伝え合い) ・遊びや生活に見通しをもつ。 (自立心) ・友達の思いや自分と違う考えを受け入れようとする。 (道徳性の芽生え)
◇環境 ※援助	◇幼児と決めたお店屋さんごっこをする日までを提示し、見通しをもって遊んだり、生活できるようにしたりすることで、遊びに対して期待と見通しをもって取り組めるようにする。 ※遊びへの期待や目標がもてるよう話し合いをする。また、自分たちでお店の準備ができるように促すとともに保育者も一緒に考えながら場を準備していく。 ◇遊びに必要なものが作れるように様々な素材を準備しておく。また、幼児のイメージが実現できるように必要に応じて新たな素材を提示できるようにしておく。 ※幼児同士で必要なものを考えて作ったり、品物の置き方などを考えたりして工夫している姿を十分認めていき、アイデアやイメージを実現する楽しさを感じられるようにする。 ◇遊びの中でチケットやお金が必要と感じた時に作れるよう準備しておく。また、ごっこ遊びを通して文字や数字に興味をもち遊びに取り入れようとする姿を大切にする。 ◇できた商品を並べられる売り場を幼児と考えながら準備し、進み具合やできた物の数などが分かるようにするとともに、売る時の並べ方も考えられるようにしていく。 ※作った商品や衣装を使って売り場でお客さん役やお店屋さん役になってやりとりをする楽しさに共感しながら、他に何が必要かを考え、活動を進めていくようにする。 ※グループごとの進み具合や活動内容をみんなに知らせたり相談したりする機会を作ることで、クラス全体で活動を進めている意識がもてるようにする。 ※お店のように製作物を飾ったり、並べたりする場を作り、明日への遊びの期待をもちながら、お店を閉店し、片付けができるように幼児と一緒に場を整えていく。	・自分の役割が分かり、友達と協力して遊びを進める。 (協同性) ・互いの思いを伝え合い遊びを進めようとする。 (言葉による伝え合い) ・遊びの中で図形・数量の感覚を育む。 (数量・図形・文字への関心)(思考力の芽生え) ・身近な人と関わり、思いを共有する。 (言葉による伝え合い) ・自分の役割がわかり、友達と協力して遊びを進める。 (協同性) ・自分でできることは自分でしようとする。 (自立心)(規範意識の芽生え)
準備物	・机・看板・テーブルクロス・製作物 ・素材(画用紙、ペン、紙粘土、自然物、絵の具、花紙、毛糸、箱、ビーズ、ボンド、筒、テープなど) ・エプロン、三角巾	

テーマ 『自分なりの目標をもって挑戦しよう』

活動(遊び) なわとびを楽しもう

- ねらい ○ なわとびに親しみ、自分なりの目標をもって楽しむ
○ 友達と協力したり工夫したりして、共通の目標に向かって取り組む楽しさを味わう
内容 ○ 友達と一緒になわとびを楽しむ

保育者の願い ・遊びを楽しみながら跳躍力や持久力を育んでほしい。
・目標に向かって諦めずに取り組み、やり遂げる喜びや充実感を味わってほしい。

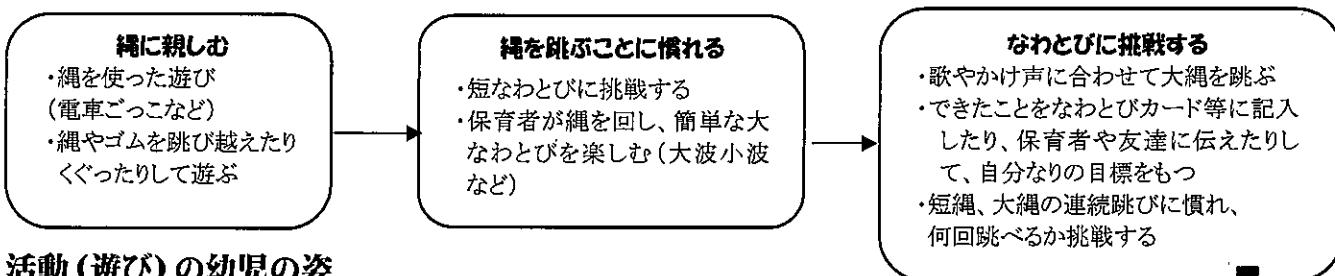
5領域のねらい

- | | |
|------|--|
| 健康 | ・体を十分に動かして遊ぶ
・健康、安全に関わる習慣に関心をもつ |
| 人間関係 | ・互いのよさや頑張りを認め合い、協力して遊ぶ楽しさを味わう |
| 環境 | ・数や文字に関心をもつ |
| 言葉表現 | ・考えたことを自分なりに表現する楽しさを味わう
・様々な跳び方を工夫し、紹介し合う |

4つの視点

- | | |
|------|---|
| 自立 | ・目標に向かって進んで体を動かして遊ぶ
・元気に遊ぶための生活習慣に関心をもつ |
| 意欲 | ・苦手なことにも挑戦しようとする
・回数を数えたり、なわとびカード等に記入したりする |
| 言葉表現 | ・友達と考えを伝え合いながら遊びを進めようとする |
| かかわり | ・一緒に跳んだり励まし合ったりする中で、共に遊びを楽しむ喜びや心地よさを感じる |

これまでの遊びとのつながり



活動(遊び)の幼児の姿

- ・自分たちで遊びに必要なものを用意したり、安全に遊べる場所を考えたりする
- ・何回跳べるか、自分の目標をもって挑戦する
- ・できたりを、なわとびカード等に記入する
- ・保育者や友達と一緒に大なわとびを楽しむ
- ・跳んだ回数を知らせたり、お互いを認め合ったりする



環境設定のポイント

- 幼児自身で用意や片付けができるような工夫
- スモールステップを取り入れ、自信や達成感をもてるような、なわとびカード等の用意
- 複数のグループが遊べるような場所の確保

保育者の援助のポイント

- 根気強く取り組めるような認めと励まし
- 友達と関わり合う姿の見守り
- 精一杯頑張ったり、友達と力を合わせたりする充実感や達成感への共感

事例 「大なわとびをしよう」



接続期のポイント

ねらい	○目標に向かって取り組む楽しさを味わう	
内容	<ul style="list-style-type: none"> ○大なわとびをする ○頑張ったことを認め合ったり、なわとびカード等に記入したりする 	<ul style="list-style-type: none"> ・元気に遊ぶための生活習慣を意識する。 ・安全に遊べるよう工夫しながら、伸び伸びと活動する。 (健康な心と体)
幼児の活動	<ul style="list-style-type: none"> ○園庭に出て大なわとびに必要なものを用意する。 ○それぞれの縄がぶつからないように、場所を考える。 ○大なわとびをする。 ○できたことを喜び、保育者や友達に知らせる。 ○友達の姿にも関心をもつ。 ○お互いに見せ合い、認め合ったり励まし合ったりする。 ○使ったものを片付ける。 ○保育室に戻り、なわとびカード等に記入する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「みんなで跳びたい」という気持ちから、協力したり工夫したりして遊ぼうとする。 (共同性) ・お互いを認め合い、言葉で表現する。 (言葉による伝え合い)
△環境 ※援助	<ul style="list-style-type: none"> ◇自分たちで遊びに必要なものを準備したり片付けたりできるような収納の仕方を工夫する。 ※縄がぶつからないように間隔を空けたり、障害物となるものを避けたりと、安全面に留意し、必要に応じて知らせていく。 ※幼児同士で相談する姿を見守り、仲立ちしたり言葉を掛けたりする。 ※できたことや工夫したこと、頑張っている姿等を認め、意欲や自信につながるようにする。 ※幼児同士で教え合ったり助け合ったりできるよう、友達の姿も伝えていく。 ◇大なわとびを見せ合う機会を設け、よかつたところ、頑張っていたところ等を伝え合い、お互いを認め合えるようにする。 ※なわとびカード等に記入しながら、自分自身のよかつたところ、頑張ったところも振り返ることができるようとする。 ◇思ったことを話し合ったり、なわとびカード等に記入したりする中で、友達の表現の仕方や文字・数字への関心がもてるようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・遊びに必要なものを考えて準備したり、安全に遊べるように場所を考えたりする。 ・長さや軽さが異なる大縄を試す中で、縄が回る速さや跳びやすさ等との関係に気づく。 (思考力の芽生え) ・お互いの姿を見たり、相談したりする中で、自分の姿を振り返ったり、友達の気持ちに気付いたりする。 (道徳性の芽生え) ・なわとびカード等の記入を通して、自分自身を認め、励ましたり、次の目標を見出したりする。 (自立心) ・自分なりの表現を楽しんだり、友達の表現の仕方に関心をもったりする。 (豊かな感性と表現)
準備物	<ul style="list-style-type: none"> ・大縄(長さ、軽さが異なるものなど) ・なわとびポール ・ラインカー、線引き棒など ・なわとびカード等の記入に必要なもの (鉛筆、色鉛筆、シールなど) 	<ul style="list-style-type: none"> ・自らの必要感や表現したい気持ちにより、文字や数字を理解したり、使おうとしたりする。 (数量や文字への関心・感覚)

テーマ 『チームで遊ぶ楽しさを味わおう』

活動(遊び) ドッジボールをしよう

ねらい ○ 友達とルールを考えたり守ったりしながら、ドッジボールを進める楽しさを味わう

内容 ○ 友達と相談しながら、ドッジボールをする

保育者の願い・友達と思いを出し合ったり、ルールを考えたりしながら、自分達で遊びを進める楽しさを感じて欲しい。

5領域のねらい

健康 ・ルールを考えたり、守って行動したりする

人間関係 ・友達と考えを出し合いながら、協力して遊ぶ楽しさを味わう

環境 ・遊びに必要な物が分かり、友達同士で場所を準備しあげを進めようとする

言葉 ・遊びの中で、数量や形に関心をもつ

言葉 ・考えを言葉で伝えたり、相手の話を聞いたりする

4つの視点

自立

・ボールを投げたり、避けたりしながら身体を動かして遊ぶ

意欲

・チーム分けを考えたり、ボールを当てた人数を数えたりする

言葉・表現

・自分の思いを言葉で伝えたり、相手の話を聞いたりしながら遊びを進める

かかわり

・遊び中で必要なルールを考えたり、守ったりする

これまでの遊びとのつながり

ボール遊び

・ボールを転がしたり、蹴ったり、投げたりするなどの遊びの中で、ボールに触れて遊ぶ楽しさを感じ、ボールに親しむ

転がしドッジボール・中当て

・簡単なルールを守って、ボールを相手に当てたり、避けたりすることを楽しむ

ドッジボール(初期)

・保育者からドッジボールの仕方を聞き、相手にボールを投げたり、ボールを避けたりを繰り返し楽しむ

ドッジボール(中期)

・保育者と一緒に場所を準備したり、数を数えたりする
・遊びの中で思いや考えを出し合い、ルールを一緒に確認しながら遊びを楽しむ

活動(遊び)の幼児の姿

- ・友達とコートやボールなど遊びに必要な場や用具を工夫して準備する
- ・自分達で相談し、チームを考えて分かれれる
- ・相手にボールを当てたり、ボールを避けたり掴んだりすることを喜ぶ
- ・ボールに当たったり、取れなかったりすることを悔しがったりする
- ・友達の姿を見て、自分なりに工夫して投げたり、避けたりして遊ぶ
- ・遊びの中で、思いがぶつかったり分からぬ事があったりした時は、友達と考えや思いを出し合い、自分達でルールを考え、解決しようとする
- ・数を数えて、勝敗を決める

環境設定のポイント

○ボールを使った遊びの繰り返しの経験

○ルールに多様性のある遊び

○幼児同士が思いや考えを出し合い、認め合える雰囲気

○周囲の遊びとの安全面を考慮

○思いきり遊びが楽しめる場所や時間の確保

保育者の援助のポイント

○興味関心に合わせた言葉を掛ける

○友達と目的に向かって力を合わせながら、勝ったり負けたりする経験の積み重ね

○満足感を感じたり次への意欲や仲間意識がもてたりする進行

○幼児自身が考えたり気付いたりできる機会を大切にする



事例 「友達と相談しながらドッジボールを楽しもう」

接続期のポイント

ねらい	○友達とルールを考えたり守ったりしながら、ドッジボールを進める楽しさを味わう	
内容	○ドッジボールをする 「友達と相談しながら、ドッジボールを楽しもう」	
幼児の活動	<ul style="list-style-type: none"> ○自分たちで遊びに必要な場や用具を準備する。 ○自分たちでチームを考え、チームに分かれる。 ○ドッジボールをする。 ○遊びの中で分からぬことがあった時は、考えや思いを出し合いながら、自分たちでルールを考えて進めようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・遊びに合った形や大きさ、人数であるか等に気付く。 (数量や図形への関心) ・活動に必要なものを考えたり、相談したりしながら、自分たちで遊びの場所を準備する。 (協同性・言葉による伝え合い)
◇環境・※援助	<ul style="list-style-type: none"> ◇ドッジボールに必要なものを幼児が選び、幼児同士で準備できるようにしておく。 ◇幼児が十分に体を動かして遊べるように、障害物の無い広い場所を確保し、安全面に留意する。 ※幼児同士で自分の思いを伝え合いながら遊びを進めようとする姿を見守るとともに、思いがぶつかる時には、幼児の思いを受け止め、一緒に考えたり仲立ちしたりする。 ※幼児が自分なりに工夫しているところやうまく投げている姿を認めたり、他の幼児に知らせたりして、“自分もしてみよう”“遠くまで投げたい”と意欲がもてるようになる。 ◇遊びの様子に応じて時間の調節が行えるようにする。 ◇勝敗を決める際には、数の多い少ないなど数の差に気付いたり、興味をもつたりできるよう分かりやすく幼児と一緒に数える。 ※遊びの中で喜んだり悔しがったりと、思いを共有しながら幼児が友達と力を合わせて遊ぶ楽しさを味わえるよう、保育者も遊びに参加するとともに、楽しかった思いに共感し、次の意欲につなげる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・手足や腕を十分に動かし、自ら活動に参加しようとする。 (健康な心と体) ・幼児同士で思いを出し合いながら、ルールを考えたり、解決しようとする。 (道徳性・規範意識の芽生え) ・繰り返し遊ぶ中で、どうすれば思うように投げたり掴めたりするのか、勝つためには…など、考えたり気付いたりする。 (思考力の芽生え) ・並べたり、表示を使ったり、数だけで比較したりしながら、数に興味をもつ。 (数量や図形への関心) ・友達と力を合わせたり、思いを共有したりしながら遊びを楽しむ。 (協同性) ・遊びの中で達成感や満足感を感じ、より意欲をもつて取り組む。 (自立心)
準備物	<ul style="list-style-type: none"> ・ラインカー・線書き棒 など ・様々な素材や形のボール ・タイマー又は時計 など 	

テーマ 『お正月遊びを楽しもう』

活動(遊び) 凧揚げをしよう



- ねらい ○ 進んで体を動かして遊ぶ
○ お正月遊びに关心をもち、その楽しさを味わう
内容 ○ 自分の凧を作り、凧揚げを楽しむ

保育者の願い ・寒さに負けず体を動かして遊んでほしい。
・試したり工夫したりしながら、繰り返し遊ぶ中で楽しさを味わってほしい。

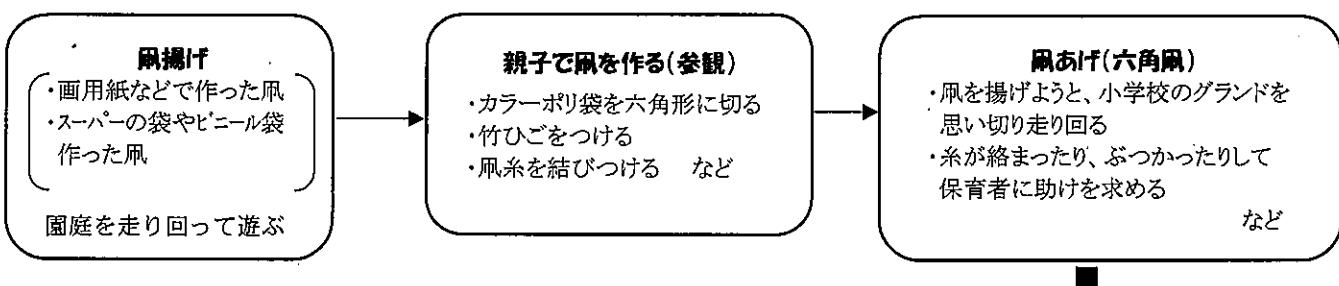
5領域のねらい

健康	・寒さに負けず体を動かして遊ぶ ・繰り返し挑戦する
人間関係	・同じ目標をもって友達と一緒に遊ぶ楽しさを味わう
環境	・風の強さや向きなどを感じる
言葉	・思ったことや気付いたことを伝える
表現	・遊びに使うものを工夫して作る

4つの視点

自立	・寒さに負けず、戸外で十分に体を動かして遊ぶ
意欲	・凧を揚げるという目標をもち繰り返し挑戦する ・試したり工夫したりして遊ぶ楽しさを味わう
言葉・表現	・自分の思いを伝えたり、関心をもって友達の話を聞い たりする
かかわり	・凧を揚げるという目標に向かって友達と一緒に遊ぶ 楽しさを味わう

これまでの遊びとのつながり



活動(遊び)の幼児の姿

- 自分で作った凧を持ち、広い場所で十分に体を動かして遊ぶ
- 自分なりの目標をもち、繰り返し試したり工夫したりして遊ぶ
- 凧が揚がった喜びや友達の凧の様子から刺激を受け、さらに高く揚げたいと意欲をもって遊ぶ
- 自分で修理をしたり、凧が絡まったら自分でほどいたりしながら遊ぶ
- 気付いたことや困ったことなど、自分の言葉で伝えようとする

環境設定のポイント

- 思いきり走れる広い場所
- 修理ができる場所
- いろいろな風の日に繰り返し遊ぶ

保育者の援助のポイント

- 凧を揚げる楽しさに気付くように促す
- 試し工夫につながる言葉を掛ける
- 根気強く取り組める励まし
- 自分でしようとする姿の見守り
- 達成感が味わえるような共感

事例 「凧揚げをしよう」

ねらい	○寒さに負けず、戸外で体を動かして遊ぶ ○試したり工夫したりして、凧揚げを楽しむ
内容	○小学校のグランドで凧揚げをする
幼児の活動	<ul style="list-style-type: none"> ○小学校のグランドに行き、凧揚げをする。 ○高く揚がった凧を見合ったり、比べ合ったりする。 ○糸の長さや風の向きなどを考え、工夫する。 ○糸やビニールを必要に応じて自分で修理したり、保育者に困ったことを伝えたりする。 ○凧が絡まった時には、自分たちで解決しようとする。 ○凧が揚がった喜びや、工夫して分かったことなどを表現する。 ○保育室に戻る。 ○凧を片付ける。 ○遊びについて話し合う。
◇環境 ※援助	<p>◇小学校のグランドを使い、思いきり走り回り、伸び伸びと凧揚げを楽しめるようにする。</p> <p>◇小学校のグランドを使うことで、小学校の環境に親しむ機会となるようにする。</p> <p>※走る向きや間隔など安全面に留意し、必要に応じて知らせていいく。</p> <p>◇修理が必要な時にはその場ですぐに自分で直せるよう用具を準備しておく。</p> <p>※一人一人の楽しむ様子を見ながら、凧を揚げる楽しさに気付いたり、考え方工夫する楽しさが味わえたりできるような言葉を掛ける。</p> <p>※糸の長さや風の向きにも気付き、関心が高まるよう保育者も一緒に遊びながら伝えていく。</p> <p>※喜びや困ったことなど思いを伝えようとする姿を大切にし、丁寧に受け止めていく。</p> <p>※自分で作った凧を大切に最後まで丁寧に片付けができるよう見守る。</p> <p>◇今日の凧揚げで気付いたことや思ったことを話し合う場をもち、関心をもって伝えたり聞いたりできるよう援助する。</p>
準備物	<ul style="list-style-type: none"> ・自分で作った凧 ・テープ類 ・凧糸

接続期のポイント

・寒さに負けず、戸外で伸び伸び活動することで体も心も躍動し意欲を高める。
(健康な心と体)

・凧を揚げるという目標に向かって、友達と一緒に遊ぶ楽しさを味わう。
(協同性)

・工夫する楽しさ、達成感を味わうことでいろいろなことにチャレンジする意欲や根気強くやりきる力を養う。
(自立心)

・友達の動きを意識して遊んだり、折り合いを付けたりしながら、安全に遊べるように考えたりする。
・自分の凧も友達の凧も大切にする。
(道徳性の芽生え)

・修理をする中で、形や長さ、強度、凧の仕組みなどに気付き、関心や感覚をもつ。
・風の向きや強さによって、凧が揚がる様子の違いに気付く。
(思考力の芽生え)

・自分の体や凧を通して風の強さや向きを感じるなど、直接体験の中での気付きを大切にする。
(自然とのかかわり)

・糸が絡まつたり破れたりした時には、自分で修理をする、友達と一緒に解決しようとするなど、自分の力で何とかしようとする姿を大切にし、最後までやり遂げる達成感につなげていく。
(自立心)

・自分の知っていることや感じたこと、分かったことを友達に伝えたり、友達の考えを聞いたり、受け入れようとする力をつける。
・困った時には自分で伝えようとする。
(言葉による伝え合い)

テーマ 『みんなで話し合って遊びを進めよう』

活動(遊び) いろいろな鬼ごっこを楽しもう



- ねらい ○ いろいろな鬼ごっこに親しみ、体を動かして遊ぶ
○ 自分たちでルールを考え、工夫して遊びを進める楽しさを味わう
内容 ○ 自分たちで工夫しながら鬼ごっこを楽しむ

保育者の願い ・走る、登る、跳ぶなど様々に体を動かして遊んでほしい。
・友達と教え合ったり助け合ったりしながら、自分たちで遊びを進めていく
楽しさを味わってほしい。

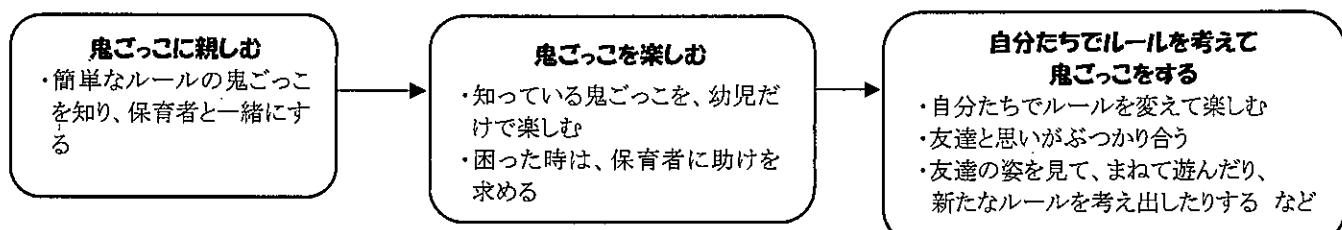
5領域のねらい

健康	・寒さに負けず、進んで体を動かして遊ぶ
人間関係	・互いの存在を認め合い、思いやりの気持ちを育む
環境	・数量や時間に関心をもつ
言葉	・考えたことを伝えたり、相手の話を聞いたりする
表現	・イメージを豊かにして遊びを楽しむ

4つの視点

自立	・適度な休息を取りながら十分に体を動かして遊ぶ
意欲	・数量や時間を感覚的に捉え、興味関心をもつ ・諦めずに挑戦しようとする
言葉・表現	・友達に分かるように伝えたり、相手の話に関心をもつて聞いたりする
かかわり	・ルールの大切さ、必要性が分かり、守ったり、工夫して作り直したりする

これまでの遊びとのつながり



活動(遊び)の幼児の姿

- ・ルールを考えながら遊んだり、友達の姿を見たりする中で、新しいアイデアを思い付く
- ・幼児が考えたことを紹介し、みんなでやってみる
- ・ルールを考え直しながら繰り返し遊ぶ
- ・勝った回数や人数を数えたり、時間を計ったりする
- ・友達と一緒に遊びたい気持ちから、自分の気持ちを調整し、折り合いを付けようとする

環境設定のポイント

- 幼児と共に安全に遊べる場所の確認
- 時間の見通しや時間の感覚がもてるような用具や道具の準備
- 数量の差が感覚的に捉えられるような工夫

保育者の援助のポイント

- 幼児の体力や集中力に留意した時間の調整
- 自分の気持ちを調整し、折り合いを付けていく姿の見守りや仲立ち
- 試行錯誤した過程の十分な認め
- 自分たちで遊びを進める喜びへの共感

事例 「自分たちで工夫しながら鬼ごっこをしよう」



ね らい	○自分たちでルールを考え、工夫して遊びを進める楽しさを味わう
内 容	○「ケイドロ」のイメージを共有し、ルールを工夫しながら遊ぶ
幼 児 の 活 動	<p>○「ケイドロ」を繰り返しする中で出てきた新しいアイデア(宝物を隠しておき、逃げるチームが宝物を見つけて持っている間はつかまらないなど)を紹介する。</p> <p>○遊びに必要なものを、身近なものを利用して用意する。</p> <p>○人数を数えて、違うチームと逃げるチームに分かれる。</p> <p>○つかまつた人数や、手に入れた宝物を数えたり、比べたりする。</p> <p>○友達と思いがぶつかり合う。</p> <p>○考えたことを伝え合い、ルールを作っていく。 (例:どちらかのチームが勝ちやすくなったりしたので、困ったことや感じたことを話し合いルールを考えるなど)</p> <p>○ルールを足したり考え方直したりしながら繰り返し遊ぶ。</p> <p>○遊びを振り返り、話し合う。</p>
◇ 環 境 ・ ※ 援 助	<p>◇幼児と共に園庭の小石を拾ったり、安全に遊べる場所の確認をしたりする。</p> <p>◇新しいアイデアを紹介する機会を設け、分かりやすく伝えたり、関心をもって聞いたりできるよう援助する。</p> <p>※みんなでルールを確認したり、実際にやってみたりする中で、友達同士で教え合ったり助け合ったりできるよう仲立ちする。</p> <p>◇宝物を何にするか、身近なものの中から考え、自分たちで準備をする。</p> <p>※宝物の隠し場所については、安全面に留意して、必要に応じて言葉を掛ける。</p> <p>◇つかまつた人数や宝物の数など数量の差が感覚的に捉えられるよう、工夫する。(ボードにマグネットを貼る等)</p> <p>◇時計やタイマーの他、適当な時間の曲(CD)なども準備しておき、見通しや時間の感覚がもてるようにする。</p> <p>◇遊ぶ中で、うまくいかなかったところや変えた方がいいところなど、気付いたことを出し合う時間を設ける。</p> <p>※ルールを足したり考え方直したりする場合、理由や必要性も理解したうえで再び遊べるようにする。</p> <p>※遊びを振り返る中で、試行錯誤した過程を認め、自分たちで遊びを進めることができた喜びに共感する。</p>
準 備 物	<ul style="list-style-type: none"> ・カラー帽子 ・ボールや玉入れの玉(宝物の代わり) ・ラインカー、線書き棒など ・タイマーや時計 ・ラジカセ、CD ・マグネットボード ・マグネット

接続期のポイント

・言葉や動作等により友達に分かるように伝えたり、相手の話に関心をもって聞いたりする。
(言葉による伝え合い)

・自分と違う考えを受け入れたり、新たな考えを生み出したりする。
(思考力の芽生え)

・戸外で十分に体を動かし、充実感を味わう。
(健康な心と体)

・イメージを共有し、役になりきって遊びを楽しむ。
(豊かな感性と表現)

・友達が遊ぶ様子を見たり、保育者と一緒に動いたりすることにより、自分なりに考え、主体的に遊びに参加しようとする。
(自立心)

・宝物の代わりになるものや隠す数を考えて用意したり、隠す場所を考えたりする。
(思考力の芽生え)

・具体物を使って数を表すことにより、数量の差に関心をもつ。
(数量への関心・感覚)

・友達と一緒に遊びたい気持ちから、自分の気持ちを調整し、折り合いを付けようとする。
(道徳性の芽生え)

・新しいルールを理解するとともに、その必要性にも気付き、守って遊ぼうとする。
(規範意識の芽生え)

・試行錯誤する経験を重ねながら遊びを進めていくことにより、自分達で考えて遊ぶ充実感や自信をもつ。
(自立心・共同性)

資料 4

スタートカリキュラム例

(d)スタートカリキュラム例

ハジメテシテアラカツルモニ

ねらい ○学校にはどんな場所やどんなんものがあるかに気づき、学校生活の様子がわかる
○安心して学校生活をスタートすることができる

資料 4

ねらい ○学校にはどんな場所やどんなものがあるかに気づき、学校生活の様子がわかる ○安心して学校生活をスタートすることができます						
校時	1日目(月)	2日目(火)	3日目(水)	4日目(木)	5日目(金)	
朝の活動 8:00~8:25 朝学習 8:30~8:40 朝の会 8:40~8:45	読み聞かせ			朝の準備を担任と一緒に全員で行う		
				朝の話・健康観察		
1	音楽「うたでなかよしになろう」 ・音楽に合わせて遊んだり身体を動かしたりする	道徳「楽しい学校」 ・小学生で楽しみなことは何かな 学活 ・朝の用意・お道具箱の使い方	生活「いちねんせいになつたよ!」 ・学校の一日を知ろう 道徳「あいさつ」 ・元気よくあいさつをしよう	国語「こえのおおきさ、どうするの」 ・声のものさし 国工「すきななのあなたに」 ・自分の好きなものを描こう (自己紹介で提示する絵)	国語「がつこうとどもだち」 ・校長室、保健室、給食室など ○廊下やトイレなど ・廊下の歩き方 ・トイレの使い方	生活「がつこうとどもだち」 ○校庭や運動場など ・春を見つけよう
2		生活「がつこうとどもだち」 ○教室付近 ・教室での過ごし方 ・ロッカーの使い方 ・お便りのしまい方	体育 ・道具で遊ぼう	国語「なんていおうかな」 ・職員室への入り方	書写「しせいともちかた」 ・姿勢 ・鉛筆の持ち方 ・せんのおけいこ	图画工作 2/3
3	入学式	国語 ・年生を迎える会の思い出を絵とことばでかく	国語「あさ」 ・校庭で見つけた春の交流 ・教科書を開く、折る ・座り方、立ち方	聴力検査 ・名簿順に並ぶ練習をしておく	体育 1/3	1/3
4			学活 ・下校グループの確認 ・下校コース確認	国語「あさ」「どうぞよろしく」 ・姿勢 ・鉛筆の持ち方 ・はじめての自分の名前を書く	学活「たのしい給食」 ・給食の時間の終束 ・給食当番の仕事 ・給食の準備	児童会 1
5	帰りの会	地域仲良し会	帰りの準備・帰りの会	帰りの準備・帰りの会	給食 帰りの準備・帰りの会	3
	給食					合計 19
	屋休み					19
	掃除					19
	帰りの会					19

(d)スタートカリキュラム例
第2週 週予定表「はじめまして ともだち」

ねらい ○学校にはどんな場所やどんなものがあるかに気づき、学校生活の様子がわかる
○安心して学校生活をスタートすることができる

校時	6日目(月)	7日目(火)	8日目(水)	9日目(木)	10日目(金)
朝の活動 8:00～8:25 朝参晋 8:30～8:40 朝の会 8:40～8:45	登校したら、朝の準備を自分でする 読み聞かせ・手遊び歌・ふれあいゲームなど				
	朝の話・健康観察				
1	音楽「うたでなかよしになろう」 ・音楽に合わせて遊んだり身体を動かしたりする	学活「学年聞き」 ・学年の友達を知り、一緒に遊ぶ	図工「自分の顔」 ・クレバースの使い方	国語「うたにあわせてあいうえお」 ・元気よく音読をする ・ひらがなの学習「く」	国語「うたにあわせてあいうえお」 ・元気よく音読をする ・ひらがなの学習「へ」
2	生活「がっこうとともだち」 ○体育館 体育 ・体操服の着替え方 ・体育の時間のきまり ・ならびっこ	生活「がっこうとともだち」 ○図書室 音楽 ・さまでまな樂器を知る ・校歌	生活「がっこうとともだち」 ○図書室 国語「どくなおはしなかな」 ・図書室で本を読む ・図書室での過ごし方	体育「体ほぐしの運動」 ・ならびっこ ・体ほぐし	視力検査・身体測定 生活
3	国語「どうぞよろしく」 ・自己紹介をし合う ・自分の名前と自分の好きなものを伝える	国語 ・年生を迎える会の思い出を絵とことばでかく	音楽「うたでなかよしになろう」 ・年生を迎える会に向けての学年練習	算数「かずとすうじ」 ・絵と数図ブロックを対応させ、5までの数を表す	音楽「うたでなかよしになろう」 ・1年生を迎える会に向けての学年練習 体育 ・1・2・3
4	算数「算数への導入」 ・挙絵をもとにストーリーを考える ・2つのものの数まいを1対1に対応づけ、数の多少を調べる	国語「うたにあわせてあいうえお」 ・口の形に気をつけて元気よく音読をする	算数「算数への導入」 ・数図ブロックの操作	道徳「友達と仲よくなる」 ・新しい友達と仲よくなる ・つくれどいすを運ぶ ・ぞうきんのしづり方 ・ぞうきんがけ	学活「教室をピカピカにしよう」 ・つくえどいすを運ぶ ・ぞうきんのしづり方 ・ぞうきんがけ 学級活動 ・1・2・3
5	給食の準備 給食 帰りの準備・帰りの会 掃除	給食の準備 給食 帰りの準備・帰りの会	給食の準備 給食 帰りの準備・帰りの会	給食の準備 給食 帰りの準備・帰りの会 掃除	合計 21 40 帰りの会

(d)スタートカリキュラム例
第3週 週予定表「たのしもう がくしゅう」

ねらい ○学校にいはどんな場所やどんなものがあるかに気づき、学校生活の様子がわかる
○安心して学校生活をスタートすることができる

校時	11日目(月)	12日目(火)	13日目(水)	14日目(木)	15日目(金)
朝の活動 8:00～8:25 朝学習 8:30～8:40 朝の会 8:40～8:45	登校したら、朝の準備を自分でする 読み聞かせ・手遊び歌・ふれあいゲームなど	朝の話・健康観察 音楽「うたでなかよしになろう」 ・音楽に合わせて遊んだり身体を動かしたりする	国語「うたにあわせておいうえお」 ・元気よく音読をする ・ひらがなの学習「も」	国語「がつこうともだち」 ・2年生に学校探検に連れて行ってもらいたい、部屋の使い方を教えてもらおう ・読み聞かせ ・本の借り方 ・図書室で本に親しむ	国語「どうなおはなしかな」 ・2年生に学校探検に連れて行ってもらいたい、部屋の使い方を教えてもらおう ・読み聞かせ ・本の借り方 ・図書室で本に親しむ
1	道徳「じゅぎょうがはじまります」 ・チヤイムを守る ・発表の仕方	体育「体カテストに向けて」 ・ならびっこ ・ボール投げ	体育「体力テストに向けて」 ・ならびっこ ・反復横跳び ・立ち幅跳び	内科検診 音楽	生活「がつこうともだち」 ・学校探検で見つけたことを絵や文でかく ・学校探検で体験したことを絵や文でかく ・1年生を迎える会に向けた年の学年練習
2	音楽「うたでなかよしになろう」 ・1年生を迎える会に向けての学年練習	国語 算数「かずとすうじ」 ・5までの数を書いて、5までの数字を書く	音楽「うたでなかよしになろう」 ・1年生を迎える会の思い出を絵とことばでかく ・1年生を迎える会に向けての学年練習	国語 ・学校探検で見つけたことを絵や文でかく ・10までの数について、絵と数字を対応付けて順序良く数える	国語 ・学校探検で体験したことを絵や文でかく ・10までの数について、絵と数字を対応付けて順序良く数える
3	算数「かずとすうじ」 ・5までの数について、5までの数字を書いて順序良く数える	算数「かずとすうじ」 ・5までの数がいくついくつに分ける	算数「かずとすうじ」 ・5までの数がいくついくつに分ける ・絵と数字を対応付けて順序良く数える	算数「かずとすうじ」 ・10までの数について、絵と数字を対応付けて順序良く数える	算数「かずとすうじ」 ・10までの数について、絵と数字を対応付けて順序良く数える
4	給食の準備 給食 帰りの準備・帰りの会 帰休み 掃除	給食の準備 給食 帰りの準備・帰りの会 帰りの準備・帰りの会	給食の準備 給食 帰りの準備・帰りの会 帰りの準備・帰りの会	給食の準備 給食 帰りの準備・帰りの会 帰りの準備・帰りの会	給食 給食 帰りの準備・帰りの会 帰りの準備・帰りの会
5	家庭訪問 家庭訪問 家庭訪問 帰りの会	家庭訪問 家庭訪問 家庭訪問 家庭訪問	家庭訪問 家庭訪問 家庭訪問 家庭訪問	家庭訪問 家庭訪問 家庭訪問 家庭訪問	家庭訪問 家庭訪問 家庭訪問 家庭訪問

(d)スタートカリキュラム例
第4週 週予定表「これからのはじめ・わたり」

ねらい ○学校にはどんな場所やどんなものがあるかに気づき、学校生活の様子がわかる
○安心して学校生活をスタートすることができる

校時	16日目(月)	17日目(火)	18日目(水)	
朝の活動 8:00~8:25	登校したら、朝の準備を自分でする			
朝学習 8:30~8:40	読み聞かせ・手遊び歌・ふれあいゲームなど			
朝の会 8:40~8:45	朝の話・健康観察			
				週時数 今週 累計
1	音楽「うたでなかよしになろう」 ・音楽に合わせて遊んだり身体を動かしたりする	国語「ことばをつくろう」 ・あいうえおで始まる三語の言葉集 ・ひらがなの学習「い」	国語「ことばをつくろう」 ・あいうえおで始まる言葉の音読 ・ひらがなの学習「り」	国語 3 [6・1/3]
2	音楽「うたでなかよしになろう」 ・1年生を迎える会に向けての学年練習	児童会「1年生を迎える会」	眼科検診	算数 3 11
3	図工「こいのぼり」 ・はみ出さないようにクレバースで色を塗る	国語 ・1年生を迎える会の思い出を絵とことばでかく	体育「体力テストに向けて」 ・かけっこ ・50m走の測定	生活 1 10
4	算数「かずとすうじ」 ・10までの数字を書く	算数「かずとすうじ」 ・ぱらばらの果物の数を教える ・絵グラフを書き、数の多少を比べる	算数「かずとすうじ」 ・10までの数のものを並べたり大小比較したりする	音楽 1 7・1/3
5	給食の準備	給食の準備	給食の準備	図画工作 3 6
給食	給食	給食	給食	体育 1 5
昼休み	昼休み	昼休み	昼休み	道徳 1 3・2/3
掃除	掃除	掃除	掃除	学級活動 0 7・2/3
				児童会 1 2
				学校行事 1 6
				合計 15 75
帰りの会	帰りの会	帰りの会	帰りの会	
下校				

第週 週予定表「

校時	1日目(月)	2日目(火)	3日目(水)	4日目(木)	5日目(金)
朝の活動 8:00～8:25					
朝学習 8:30～8:40					
朝の会 8:40～8:45					

週時数	今週		累計
	国語	算数	
1			
2			
3			
4			
5			
掃除			
給食			
屋休み			
帰りの会			
合計			
児童会			
学校行事			
学級活動			
体育			
道徳			
图画工作			
音楽			
生活			
算数			
国語			

資料 5

生活科単元構成例

(小学校 1 年生 4 月～7 月)

いちねんせい
1年(全4時間)

児童の学びのストーリー

資料5

単元のねらい 学校生活や登下校に対して安心感をもち、新しい環境で元気に生活していくことのできる自信と意欲をもつことができる。					
児童の学びのストーリー			4月(全4時間)		
<p>【児童の学びのストーリー】</p> <p>「つにいに1年生になれた」という喜びと新しい始まる学校生活に対する大きな期待に満ちあふれている子供達。一方ではどんなことするのかない、みんなと一緒にできることなど、未知への不安と自分自身への不安もついている。师范大学は心地を高め、不安感を整備することで、児童が安全と安心感を持つために、下校の重要な役割を担う。これが新たな児童生活に向けて、児童が自ら主体的に生きるために、下校で大切なことを考える方法について気付いていくようにする。</p>					
<p>資料5</p>					
1	「なんきにがつこうにいけるかな」	時数	主な学習活動（児童の思いや意識の流れ）	支援と留意点	学習内容
1	1 「なんきにがつこうにいけるかな」		1 学校から家庭までの道のりにおいては、多くの人の出会いや、様々なものがあることを知る。 おうちとがつこはどうどこかな？ きいろのふくをきたひとは、なになのかなあ？ 2 「できるかな」を見て登校前に自分でできるかどうかを考える。 おはようといつたよ。じぶんでおさきたよ。 3 翌日からの登校を職員がいたちにしていることを伝え、学校へ行きたいという気持ちを高める。 はやくあしたにならないかなあ。	・安心して学校生活ができるように学校体制の中で全教職員が関わるようにする。(かかわり) ・2日目を心待ちにして下校できるように、教室環境を整えること、初日の授業を2日目への期待につながるようになります。(意欲)	合科・開催する教科 (目標を持って進むで学ぶ)
2	「がつこうのいちにちはどうなっているのかな」		1 学校の1日の流れについて知る。 2 これまでの生活と比較しながら時間ごとにるべきことがらと、そこで「頑張ること」、「気をつけること」、「気をつけること」に気づかせる。 ○○たいたいとは、なにしてある子がわかる。 3 自分自身はそれ時間などをどう過ごしているのかを考える。 4 これからももっと頑張りたいことを決めて学校生活への意欲を高める。	・一日の学校生活の流れがわからり、絵や写真、図等の掲示物を使って、強制的に分かれやすく説明する。(自立) ・小学生になつたといふ意欲や期待感を引き出し、高めるためにも自分からくる「自分でする」姿を認めて肯定する。(意欲)	思考力・判断力・表現力等の基礎 (社会に目を向けようと考える)
3	「あんぜんにきをつけられかな」		1 学校から家庭までの下校の道のりについて、安全に気をつけて帰るための行動を考える。 2 いろいろな危ない場面があることに気づき、「危ないことにどうすればよいか」をつなげて考える。「安全な場所も見つける。」「まるにきをつけないといけないよ。」「いろいろな人が自分の安全を守っていることに気付き、これから登下校をさらに安全にしていく」という気持ちを高める。	・安全ボランティアやPTA等の協力のもと、登下校の安全が見守られていることと気付かせ、自分でも安全に行動が取れるよう指導する。(自立) ・教室ではお互いに安全な行動をとるための話を聞いたり、実際の下校に付きそつ中で、安全に気を付けながら下校をしているかを確認する。(かかわり)	評価基準(目指す子どもの姿) 【学校に向かう力・人間性等】 「学校まで道のりには、自分の学校生活が明るく、美しくなるような人がたくさんいることに気がしている。」
4	「なかよくあそべるかな」		1 同じ学級での友達関係に 관심をもち、もつと仲よくなるという意欲を高める。 2 いろいろな遊びがあることに気付き、たくさん遊んでもつと友達を増やしたり、仲よくなつたりしようという気持ちを高める。 3 ルールを守りながらみんなで遊ぶ。 うんどうじょうであそびたいな。なにをしてあそぼうか ○○ちゃんどあそんだよ。たのしかったよ。	・友達と関わることに 관심をもち、ルールを守りながら仲よくなるひびと遊びができるように支撐する。(かかわり) ・友達づくりに努めて安心して取り組める子供と、不安を抱く子供とかが混在していることを意識しながら支援する。(自立)	知識や技能の基礎 (豊かな言葉と表現する) 【知識や技能の基礎】 「学校生活では、できるだけ自分のことは自分でできることや、場に応じて約束を守つたり、めでてに、沿って学習をしたりすることが大切だと気付くとともに、学校の生活において、友達と一緒に遊わったり、絆を守りながら、安心して活動したりすることができる」というようにする。

ともだち(全13時間)
4~5目

单元のねらい

喜元のねらい

全蜀王集

学... 身...	(1)「遺産」 ... (6)「国語」 ... 音楽	4(1)(4) [なんいなおがななどうぞよろしく] はくかじりむをうとう！ すかよし！」すなやつちでねん
--------------	--	---

「児童の学びのストーリー】
学校生活に慣れ始め、自分の教室の外へと目が向き始めた子供達は、体験入学などの経験から、「知っているよ」「行ってみたい!」の思いが膨らんできている。「学校を経験しよう」と行きたい教室や活動の約束も進んで考える。探検での発見は、友達に教えることで、絵やお話を表現につながっていく。「もう一度行きたい」「今度は〇〇へ探検したい」と思はずにはばかり、校庭や近くの公園へと活動の場を広げていくことで、学校生活で必要なルールを身につけ、自信を深めていく。

金日時間



安全に気を
うこどがで

児童の学びのストーリー						
安全に気を付けて、遊び場や野原に出かけて行き、みんなで遊ぶながら、人や自然とふれあうことことができる。また、春の季節を感じることができる。						
時数	知識や技術の基礎 (豊かな言葉と表現する)	思考力・判断力・表現力等の基礎 (社会の良い風土等に対する考え方)	学習内容	合科・関連する教科		
1	遊び場や野原に出かけて行き、自然に親しみ、友達と一緒に遊ぼうとする。	遊び場は多くの人々が利用している、いろいろな施設があり、それらがみんなのものであることや、自然のなかで遊ぶ楽しさに気が付いている。	「学校に向かう力・人間性等」 (目標を持って進んでもらう)	「友だちと一緒に遊ぶ」 「国語」「ぶんづけ」 「音楽」「こうえん」 「図工」「せんせいあとのね」		
2	1 放課後や休日に地域で遊んでいる場所の中から、クラス全員で安全に遊ぶことができる場所を考える。 公園・広場・草原・河原・休耕田・公民館・児童館など。 2 出てきた意見の中から、「安全に気を付けて遊べる所」「2時間で言って帰ってこられる所」など、みんなで考え て一番よい場所を決める。 3 遊び計画を立てる。	遊び場や野原に出かけて行き、自然に親しみ、友達と一緒に遊ぼうとする。	支授と留意点	活動のきかつけ ・子どもがいる家庭の中から、クラス全員で安全に遊ぶことができるところを参考に「楽しい遊び場ではないかなあ」の探査(かいたい)やゲーム・車花遊び(虫がしゃなど)をして、見つけたものや遊んだこと、美しかったことを絵や文やお祝いやお祝話を使って表現することができる。	「思考力・判断力・表現力等の基礎」 「遊び場は多くの人々が利用している、いろいろな施設があり、それらがみんなのものであることや、自然のなかで遊ぶ楽しさに気が付いている。	
3	1 遊び場で楽しんで遊んだり、探ししたりする。 2 遊び計画を元に楽しく遊ぶ。	遊び場で楽しんで遊んだり、探ししたりする。	自然の中で楽しく遊ぶために ・安全面等を考慮して事前に現地に行き、下見を十分に行う。(意欲) ・生命の大切さなどについて丁寧に指導する。(自己) ・自然ならではの遊びやゲームを幼稚園・保育所(園)での経験を基にさらに広がっていくように支援する。(かかわり) ・公園にはどんな施設や看板があるかを話し合ったり、探査後に教科書の施設と比べたりすることで、公園での探索を学んでいく。(言葉表現)	「知識や技能の基礎」 「友だちと仲よく遊ぶなが ら、自然に親しんだり、活動したりしようとして いる。」	「知識や技能の基礎」 「友だちと一緒に遊ぶなが ら、自然に親しんだり、活動したりしようとして いる。」	
4	1 楽しかったことなどを伝えたいことを自分なりの方法で発表する。 2 友達の発表を聞いたり、自分の発表したことを振り返る。 3 もう一度遊び場へ行く計画を立てる。	1 楽しかったことなどを伝えたいことを自分なりの方法で発表する。 2 友達の発表を聞いたり、自分の発表したことを振り返る。 3 「みんなにおしゃってあげたいな。」	1 楽しかったことなどを伝えたいことを自分なりの方法で発表する。 2 友達の発表を聞いたり、自分の発表したことを振り返る。 3 もう一度遊び場へ行く計画を立てる。	「知識や技能の基礎」 「自分が見つけたものや 遊んだことを分けたりやすく相手に伝えるようして いる。」	「知識や技能の基礎」 「自分が見つけたものや 遊んだことを分けたりやすく相手に伝えるようして いる。」	
5	1 クラス全員で「学校以外の身近な場所へ出かける計画を立てよう」としたことを伝えよう 2 みんなの「あそびばでののしも」という言葉を見て、遊び場を見つけたこどもや遊ん でることを自分なりの方法で表現 3 相手に伝えることができる。	1 クラス全員で「学校以外の身近な場所へ出かける計画を立てよう」としたことを伝えよう 2 みんなの「あそびばでののしも」という言葉を見て、遊び場を見つけたこどもや遊ん でることを自分なりの方法で表現 3 相手に伝えることができる。	1 楽しかったことの報告会の準備をする。 2 みんなに伝えていくことを自分なりの方法で発表する。 3 友達の発表を聞いたり、自分の発表したことを振り返る。 4 もう一度遊び場へ行く計画を立てる。	1 楽しかったことの報告会の準備をする。 2 みんなに伝えていくことを自分なりの方法で発表する。 3 友達の発表を聞いたり、自分の発表したことを振り返る。 4 「みんなにおしゃってあげたいな。」	「思考力・判断力・表現力等の基礎」 「1回目の遊び」 「活かして、遊びの計画を立てている。」	「思考力・判断力・表現力等の基礎」 「自分が見つけたものや 遊んだことを分けたりやすく相手に伝えるようして いる。」
6	1 放課後や休日に地域で遊んでいる場所の中から、クラス全員で安全に遊ぶことができる場所を考える。 公園・広場・草原・河原・休耕田・公民館・児童館など。 2 出てきた意見の中から、「安全に気を付けて遊べる所」「2時間で言って帰ってこられる所」など、みんなで考え て一番よい場所を決める。 3 遊び計画を立てる。	遊び場で楽しんで遊んだり、探ししたりする。	自然の中で楽しく遊ぶために ・安全面等を考慮して事前に現地に行き、下見を十分に行う。(意欲) ・自然ならではの遊びやゲームを幼稚園・保育所(園)での経験を基にさらに広がっていくように支援する。(かかわり) ・朝の会や終わりの会、休み時間などの日常生活の中でも子供達の気付きを評価する。(言葉表現)	1 楽しかったことの報告会の準備をする。 2 みんなに伝えていくことを自分なりの方法で発表する。 3 友達の発表を聞いたり、自分の発表したことを振り返る。 4 「みんなにおしゃってあげたいな。」	「思考力・判断力・表現力等の基礎」 「1回目の遊び」 「活かして、遊びの計画を立てている。」	「知識や技能の基礎」 「自分が見つけたものや 遊んだことを分けたりやすく相手に伝えるようして いる。」
7	1 クラス全員で「学校以外の身近な場所へ出かける計画を立てよう」としたことを伝えよう 2 みんなの「あそびばでののしも」という言葉を見て、遊び場を見つけたこどもや遊ん でることを自分なりの方法で表現 3 相手に伝えることができる。	遊び場で楽しんで遊んだり、探ししたりする。	1 楽しかったことの報告会の準備をする。 2 みんなに伝えていくことを自分なりの方法で発表する。 3 友達の発表を聞いたり、自分の発表したことを振り返る。	1 楽しかったことの報告会の準備をする。 2 みんなに伝えていくことを自分なりの方法で発表する。 3 友達の発表を聞いたり、自分の発表したことを振り返る。	「思考力・判断力・表現力等の基礎」 「1回目の遊び」 「活かして、遊びの計画を立てている。」	「知識や技能の基礎」 「遊び場に慣れてきたことや、 自分で遊んだ経験を発表したりしてほしい。 ことに向かって友達と一緒に質問したりしてほしい。 「学び」に向かって友だちと一緒に質問したりしてほしい。 「友だちなどなどを紹介して合う活動の中で自分や友達のよさに気が付いている。」

だいすき なつ(全4回)



单元のねらい
夏の季節を語かしてからして、みんなと仲良く遊び、夏の季節の特徴に気付くことができる。

学習内容		合科・関連する教科
知識や技能の基礎 (豊かな言葉と表現する)	思考力・判断力・表現力等の基礎 (社会に目を向けよりよく考える)	学びに向かう力・人間性等 (目標を持って進んで学ぶ)
から夏への季節の変化によって、自然や人々の様子 が変わることに気付いている。	夏らしい遊びを工夫したり、夏休みの計画を立てたりする	知識や技能の基礎 (知識や生活の場で春から夏の変化に気付いている。)
ねらい 時数	主な学習活動（児童の思いや意識の流れ）の写真を提示する。	支援と留意点
1 なつを見つけていこう 校庭の探しを通して、植物の様子の変化や春と生き物の存在に気付き、見つけたことをまとめることができる。	<p>1 看から様子が変わったものの（桜の木など）の写真を提示する。 どこだらう？ 他にも、看と様子が変わった所があるのかな？ 見つけにいきたい</p> <p>2 校舎周辺をまわり、看からの変化や夏を感じるものを見つける。 桜の花がなくなつて、葉が出ている。ありがたくさんいるよ。</p> <p>3 見つけたものを教室に戻つてカードに書く。</p> <p>4 カードに書いたものを友達と交換する。</p> <p>5 探検を通して体感した暑さをもとに、みんなで夏を楽しむ意欲を高める。</p>	<p>香に朝霧(たけ)を中心(こころ)にまとわることで、季節の変化に気付きやすくなる。(整改)</p> <p>・香から夏への季節の変化によって、自然や人々の様子が夏らしい遊びができるようになる。(自立)</p>
2 みずやつちであつてぼう 夏に適した遊びや、土や砂、水などを使った遊びを工夫して友達と一緒に楽しむことができる。	<p>1 夏を楽しむ遊びにはどんな遊びがいいかを考える。 水を貯(たま)うと涼しいよ。シャボン玉をつくりたいな。どちらんごをつくろうかな。</p> <p>2 外に出てみんなで考えた遊びを友達と一緒に楽しむ遊ぶ。 どうしたら、上手(じょうし)にシャボン玉をつくれるかな。水を流して川をつくろう。</p> <p>3 活動を振り返り、後片付けをする。</p> <p>晴れた日に遊びるのは楽しいな。雨の日はどうだらう？</p>	<p>【思考力・判断力・表現力等の基礎】 水遊びや土・砂遊び(おもいで自分なりの遊び方を工夫している。) 【字ひに向かう力・人間性等】 ・活動場所については、子供達の様子が見渡せる安全な範囲の中で、子供が活動するようにする。(自立) ・土や砂、水遊びではそれらの特性に気付かせるとても、作品づくりでは一人遊びから次第に友達と一緒に楽しむ遊びがついていくように支援する。(かかわり) ・遊びのアイデアを引き出し、遊びの工夫ができるよう教科書の絵や写真を題(と)題に活用する。(意欲) ・楽しい遊びは互いに友達にも伝(は)なれるような身の設定を行い、個々の遊びが広がるよう支援する。(ことば) ・川や山などで遊びの安全面の約束や、遊んだ後の後片付けなど徹底する。(自立)</p>
3 なつやすみを たのしもう 1学期を振り返り、夏休みのめあてを担任や家人と相談しながら立てて、楽しい夏休みを過ごすことができる。また、地域の行事や身近な自然と接触的に関わるところに、健康で安全な毎日を過ごすことができる。	<p>(4) 雨上がりに校舎外に出て、晴れた日のとの様子の違いを感じさせる。 ※可能なら別日に実施</p> <p>1 夏に楽しむことを出しあう。 花火がきれいたな。海に行きたくな。虫とりに行きたくな。</p> <p>2 1学期の学習とつなげて、夏休みに何だけれど話しあう。 泳ぐ練習をしよう。朝顔の世話を毎日しよう。こんなお手伝いをしたいな。</p> <p>3 自分が夏休みにやってみたいことを決め、夏休みの計画表を作る。</p> <p>1 4 1学期に頑張ったことや、楽しかったことを作品をもとに家人に話をする。</p>	<p>【思考力・判断力・表現力等の基礎】 安全で健康に生活することを考えて、自分にあるた計画を立て、それを実現することができる。</p> <p>【字ひに向かう力・人間性等】 ・初めての夏休みを安全に楽しく過ごせるように家庭や地域との連携を密にして。(かかわり) ・夏休みのことは常に記憶する。(自立) ・子供達が具体的に様々な豊かな体験ができるように、紹介する。(意欲) ・子供一人一人が自分の1学期を振り返る機会とし、交流させれる。(ことば・表現)</p>

单元のねらい		学習内容	合科・関連する教科
【児童の学びのストーリー】			
ねらい	時数	主な学習活動（児童の思いや意識の流れ）	支援と留意点 評価基準（目指す子どもの姿）
	4		
	4		
	2		
	3		

がつこうどともだち(全13時間)
4~5月

元の概念



どんな子ども達が、学習対象や学習材に出会うことで、
どういった思いや願いをもつか。そしてどのような活動をする
ことか、どんな気付きが生まれるのか。活動を進める(繰
り返す)中で、子供達はどんな姿を見せるようになつくる
か。教師の意図や願いも含め、単元をどう構想したかが
イメージできるように書くとよいでしょう。

【児童の学びの
学校生活に慣れ
学校経験から、「知つて
おきたい」として、
絵やおもちゃで表現する
思いは広がり、
ルールを身につく

単元のねらい		ともだち(全13時間)	
・学校を探検したり、学校で働く人々とかかわったりしながら、学校内外に部屋やものどその懲罰など学校で働いている人々員あることを感じて楽しく安全に学校生活を送ることができるようになる。			
どんな子ども達が、学習対象や学習材料に出会うことで、どんな思いや願いをもつか。そしてどのような活動をすることで、どんな気付きが生まれるのか。活動を進める(繰り返す)中で、子供達はどんな姿を見せるようになつてくるか。教師の意図や願いも含め、単元をどう構想したかがイメージでききるように書くとよいでしょう。	【児童の学びのねらい】 学校生活に慣れ親しむこと。 「知りたい」「見つけたい」「気付く」として、絵やおもちゃなどで表現する。 【児童の学びのねらい】 学校生活に慣れ親しむこと。 「知りたい」「見つけたい」「気付く」として、絵やおもちゃなどで表現する。	時数	主な学習活動（児童の思いや意識の流れ）
ねらい	小単元のめあてをここに記入しましょう。	1 2 3 4	1 学校で行つてみたい場所NO1を決める。(いってみたい場所はどこか発表し合う。) 【学校探検への意欲付け】 2 行つてみたい場所NO1から学校全体を回り、他学年の教室、特別教室やいろいろな特徴ある場所の存在と、そのおおよその位置を知る。 3 その場の特徴あるものを見つけたり、体験したり、関係ある人に話を聞いたりする。 4 友達の話を聞いて気付いたところを記す。
ねらい	小単元のめあてをここに記入しましょう。	時数	主な学習活動（児童の思いや意識の流れが分かるように書きましょう。）
ねらい	2 こうていもじたんけんしてみよう	1 2 3 4	1 校庭での場所をさがす。 2 安全に気付いて「校庭の○○がよかっ！」 3 探検の結果についてこうどうす ていこうとする 1 かきため 2 思い出を 3 話し合い
ねらい	3 たんけんしたことのみんなで見つけたものや気付いたことを教え合うことを通して、学校への愛着や学校生活への自信を深めることができる。	2	1 みんなで見なそう 2 愛着を高める 3 いろいろ家庭科室で
ねらい	4 がつこうのまわりをあるいてみよう	3	1 学校マップを振り返り、学校の周りにも行く 2 いくつかのルートに分け、その通学路を使い子どもが好きな場所を説明しながら学校の近くを歩いてみる。 3 学校探検の時と同様、マップにカードを置きながら、お気に入りになった場所、がんばったことを発表していく。
学習内容	合科・関連する教科	学年…(1)	【知識や技能の基礎】 学校内にいる人や、外にいる人、いろいろな場所へ行き、【知識や技能の基礎】 【知識や技能の基礎】 【知識や技能の基礎】
学習内容	合科や単元名をここに記入しましょう。	学年…(1)	【知識や技能の基礎】 【知識や技能の基礎】
評価基準(目標子どもの姿)	評価基準として、めざす子供の姿を記せばと、思います。	3	【知識や技能の基礎】 【知識や技能の基礎】
支授と留意点	中力キュラムで作成した、教師のかかわりや環境づくりの視点を意識して書くとよいでしょう。	3	【知識や技能の基礎】 【知識や技能の基礎】
参考	・思いや願いが高まるよう、(教師の意図した気付きや活動に尊くために)どんな環境を用意するか	3	【知識や技能の基礎】 【知識や技能の基礎】
参考	・気付きの質が高まるよう、教師はどのように関わるか。どんな表現をさせるか	3	【知識や技能の基礎】 【知識や技能の基礎】
参考	・どこで何に気を付けるか、何を考えさせるか	3	【知識や技能の基礎】 【知識や技能の基礎】

資料 6

幼小交流體驗活動例

平成〇〇年度 幼小接続「いちご摘み」

～〇〇年〇月〇日

1 日時	平成〇〇年〇月〇〇日(〇) ○時〇〇分～〇時〇〇分	年長の秋にみんなで植えたいちごが、春に実をつけたので、1年生になったぼくたちと年長さんといっしょに収穫したよ。				
2 場所	〇〇幼稚園					
3 対象園児	〇〇幼稚園 〇〇組(年長児)〇〇名 〇〇小学校 1年生 〇〇名					
4 ねらい	<table border="1"> <thead> <tr> <th>幼稚園ねらい</th> <th>小学校ねらい</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・1年生と触れ合いながら、いちごを摘むことを喜ぶ。 ・秋には自分たちがいちごの苗を植えて来年度1年生になった時にいちご摘みにくることに期待をもつ。</td> <td>・幼稚園児との交流を通して、人に優しく接する気持ちをもつ。</td> </tr> </tbody> </table> 		幼稚園ねらい	小学校ねらい	・1年生と触れ合いながら、いちごを摘むことを喜ぶ。 ・秋には自分たちがいちごの苗を植えて来年度1年生になった時にいちご摘みにくることに期待をもつ。	・幼稚園児との交流を通して、人に優しく接する気持ちをもつ。
幼稚園ねらい	小学校ねらい					
・1年生と触れ合いながら、いちごを摘むことを喜ぶ。 ・秋には自分たちがいちごの苗を植えて来年度1年生になった時にいちご摘みにくることに期待をもつ。	・幼稚園児との交流を通して、人に優しく接する気持ちをもつ。					
5 タイムスケジュール						
時間〔場所〕	活動内容	指導者の動き(留意点)	児童・園児	物等		
10分	・集合 ・移動	・幼1年生を迎える。 ・小中間休みが終わったら、昇降口前に速やかに集合し移動できるように、整列して移動させる。	・幼小 時間がきたら、行動する。			
5分	・あいさつ	・幼小全体で挨拶をして校長先生の話を聞かせる。	幼小挨拶をして校長先生のお話を聞く。 小いちごつみについて話をする。			
15分	・いちご摘み	・小スムーズに2～3人組が作れるように事前にグルーピングをしておく。 ・幼混み合わないようにプランターの間隔を広げておく。 ・幼全員がいちごを摘めるように声かけをする。 ・幼小・雨天の場合は屋根のある所にプランターを移動しておく。 ・雨天時はホールで食べる。 ・幼小片付ける。	・幼小1年生2～3人十年長児1人のグループに分かれる。 ・幼小一緒に赤くなっているいちごを見つけて摘む。 ・幼小摘んだいちごと一緒に洗って汚れを落とす。 ・幼小テラスに座って挨拶をして一緒に食べる。 ・幼小お皿と一緒に片付ける。	いちごプランターⅢ 1人3粒程度		
15分	・交流をする	・幼小いちご摘みをしたグループでいちごリレーをさせる。 ・小ルールを分かりやすく説明させる。	・幼小幼小一緒に体操をする。 ・幼いちご摘みをしたグループの1年生を探す。 ・小いちご摘みをしたグループの年長児を探し呼ぶ。 ・小ルールを分かりやすく説明する。 ・年長児の走るスピードにあわせて一緒に走る。 ・幼小挨拶をする。 ・小小学校に戻る。	ラジカセ いちごの模型		
	・あいさつ	・幼小園長先生の話を聞いて全体で挨拶をさせる。				

※ 事前に幼稚園から小学校へ招待状を、事後に小学校から幼稚園にお札状を送っている。

いちごは1年生が年長時に植えたものを収穫している。

平成〇〇年度 幼小接続「給食体験」

平成〇〇年〇月〇〇日

- 1 日時 平成〇〇年〇月〇〇日(〇)
- 2 場所 ○○小学校 ○年生各教室
- 3 対象園児 ○○幼稚園 ○〇〇組

年間で複数回実施すると、1回目
は随分と時間がかかっていた交流
も互いに慣れて、落ち着いて交流
することができるようになるよ

4 ねらい

幼稚園ねらい	小学校ねらい
<ul style="list-style-type: none"> ・5年生の配膳の様子を見ることで、給食の準備の仕方を知る。 ・5年生に教えてもらいながらできる所は自ら進んでやってみようとする。 ・5年生に親しみの気持ちをもつとともに、小学校入学への期待を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・園児の発達段階を考えて、園児が安心して給食体験ができるように準備を進める。 ・園児が小学校に親しみ、入学への期待が高まるように和やかな雰囲気で会食を進めることができる。

5 タイムスケジュール

時間	活動内容	指導者の動き(留意点)	児童・園児の動き	準備物等
	移動	<ul style="list-style-type: none"> ・幼引率 ・小班ごとに給食が食べられるように机と椅子を移動させておく。 ・小一つ一つの行動や食事に時間がかかると予想されるので、早めに準備を始めさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・12:05に始められるように、5年生の各教室に移動しておく。 	園児用椅子
5分	グループ分け	<ul style="list-style-type: none"> ・幼小スムーズにグループに入ることができるように声かけをする。 ・移動や着席がしやすい様にグループ名と個人名など黒板等に示しておく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・小園児担当の児童が自分の班の位置に園児を連れて行く。 	座席表
15分	給食配膳	<ul style="list-style-type: none"> ・小幼 衛生面に配慮し、園児が安全に給食配膳できるように目配り、気配りをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・小園児といっしょに机上の準備や手洗い等を行う。 ・小園児の発達段階を考えて、一緒に給食配膳を行う。 	
35分	給食開始	<p>あいさつ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼不安のある幼児のそばに付き、寄り添うようにする。 ・小自己紹介等をさせながら、楽しく和やかな雰囲気で会食できるような雰囲気作りを心がけさせる。 ・小園児が小学校に親しみをもち、来年度の入学に希望がもてるよう、早く食べ終わった園児のために読み聞かせなどを考えさせておく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・小園児の食べる量について個々に声かけをするなど配慮する。 ・小自分たちから順番に自己紹介をする。 ・幼児童をまねて自己紹介する。 ・小食べ終わった後も、園児と楽しく関わりをもつことができるよう読み聞かせをするなどの工夫をする。 	紙芝居、絵本等
5分	後片付け	<ul style="list-style-type: none"> ・どこに何を入れるのか等を見て分かるように支援する。 ・あいさつ ・引率 	<ul style="list-style-type: none"> ・小園児と一緒に後片付けをする。 ・幼お礼のあいさつをする。 ・幼幼稚園に戻る。 	

平成〇〇年度 幼小接続「絵本の読み聞かせ」

一〇〇年〇月〇〇日

- 1 日時 平成〇〇年〇月〇〇日 (〇) ○時〇分
- 2 場所 ○〇小学校 5年生各教室
- 3 対象園児 ○〇幼稚園 ○〇〇組 (年長児) ○〇名

わたしたちの好きな絵本を事前に聞いてくれたり、お兄さんやお姉さんが小さい頃に好きだった絵本を選んでくれたりしててたのしかったよ。

4 ねらい

幼稚園ねらい	小学校ねらい
・5年生に読み聞かせをしてもらうことで小学校入学への期待や親しみの気持ちをもつことができる。	・園児に分かりやすく、情景を思い浮かべられるように読み聞かせをしたり、園児達が安心して小学校で過ごせるように声をかけたり、世話をしたりすることができる。

5 タイムスケジュール

時間	活動内容	指導者の動き(留意点)	児童・園児の動き	準備物等
	移動	・幼引率 ・小班ごとに活動しやすいように机と椅子を移動させておく。	・時間に始められるようには、5年生の各教室に移動しておく。	園児用椅子
3分	あいさつ 自己紹介	・幼小スムーズにグループに入ることができるように声かけをする。 ・グループ毎の配置を黒板等に図で示しておく。 	・小園児担当の児童が自分の班の位置に園児を連れて行く。 ・小代表児童が挨拶をする。 ・小自分たちから順番に自己紹介をする。 ・幼児童をまねて自己紹介する。	座席表
15分	読み聞かせ	・小事前指導として、園児が少しでも参加できるような読み聞かせをするように、問い合わせやクイズなどの工夫を準備させておく。 ・幼落ち着いて絵本を見られるよう言葉かけをする。 ・幼保育者も一緒に絵本を見て、園児が感じたことを共感し、楽しい雰囲気の中で見られるようにする。	・小分かりにくい言葉や場面では補足を入れて説明したり、質問したりする。 ・小園児も参加できるようにクイズを出したり、声に出させてみたりする。	絵本 (各班2冊)
2分	ことば遊び クイズ しりとり お絵かき など あいさつ	・あいさつ ・引率	・小読み終わった後も、早くことば遊びやクイズをして、園児と楽しく関わりをもつことができるよう工夫する。 ・小代表児童が挨拶をする。 ・幼お礼のあいさつをする。 ・幼幼稚園に戻る。	お絵かき用の紙・ペン等

平成29年度 幼小接続「おもちゃづくり」

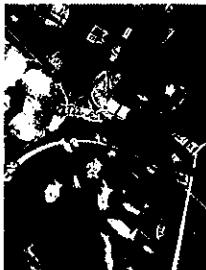
年 月 日

- 1 日時 平成〇年〇月〇日 (○) ○時〇分～〇時〇分 (○校時)
- 2 場所 ○○小学校 体育館
- 3 対象園児 ○○幼稚園 ○○組(年長児) ○○名 ○○保育所
- 4 ねらい

お兄さんやお姉さんに楽しい遊びを教えてもらって、さっそく保育所でもやってみたよ。年中児さんや年少児さんにも教えてあげたよ。

幼稚園・保育所のねらい	
<ul style="list-style-type: none"> 2年生におもちゃの作り方を教えてもらい、できたおもちゃで一緒に遊ぶことにより、小学校児童への親しみの気持ちと、小学校入学への期待をもつ 園に持ち帰って再度遊んだり、年中児、年少児へも教えてあげようという意欲をもったりする。 	<ul style="list-style-type: none"> 園児に分かり、ところは、手伝つての...い接しようとする態度を育む。

5 タイムスケジュール

時間〔場所〕	活動内容	指導者の動き(留意点)	児童・園児の動き	準備物等
	・移動	<ul style="list-style-type: none"> 幼引率 小グループごとに材料などを分けておく。 	<ul style="list-style-type: none"> 予定時刻に始められるように、体育館前に移動しておく。 	入場用のアーチ
10分	・あいさつ	<ul style="list-style-type: none"> 幼事前に決めておいた番号のところに並ばせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 小代表児童が挨拶をする。 小今から何をするのか、説明をする。 	
30分	「新聞紙けんだま」の制作	<ul style="list-style-type: none"> 小・幼正しく作れているか、見て回り、困っているグループへアドバイスをする。 小園児に活動させられるように、児童が手を出しすぎないようにさせる。 小当日休みの園児の分も制作させ、持って帰ってもらえるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 小新聞紙けん玉の作り方を説明しながら、園児と一緒に制作する。 幼児童に作り方を教えてもらいながら、制作する。 	新聞紙9枚 輪ゴム2本 タコ糸1本 (90cm) かざりの色紙 セロテープ のり
10分	新聞紙けん玉であそぶ	<ul style="list-style-type: none"> 小・幼時間内に終わっていないグループへのフォローをする。 	<ul style="list-style-type: none"> 小・幼作った新聞紙けん玉で一緒に遊ぶ。 小遊び方をわかりやすく教える。 	
5分	・あいさつ	<ul style="list-style-type: none"> 小時間になったら、はじめの隊形に並ぶように時間を意識させて、自分達で行動できるようにさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 小代表児童が挨拶をする。 	
	・解散	<ul style="list-style-type: none"> 幼引率、園に戻る 	<ul style="list-style-type: none"> 小お見送りのアーチを作る。 幼幼稚園に戻る。 	退場用のアーチ

令和 年度 幼小接続「」

令和〇〇年〇月〇日

1 日時 令和〇〇年〇月〇〇日(〇) 〇時〇〇分～〇時〇〇分

2 場所 〇〇幼稚園

3 対象園児 〇〇幼稚園 〇〇組(年長児)〇〇名
〇〇小学校 〇年生 〇〇名

4 ねらい

幼稚園ねらい	小学校ねらい

5 タイムスケジュール

時間	活動内容	指導者の動き(留意点)	児童・園児の動き	準備物等
〇時〇分				

幼小接続 交流シート

活動内容 () 平成 年 月 日 () 給食体験

	保育所(園)・幼稚園(幼児)	小学校(児童)
ね ら い	<ul style="list-style-type: none"> ・5年生の配膳の様子を見せてもらい、給食の準備の仕方を知る。 ・5年生に教えてもらいながらできる所はやってみようとする。 ・5年生に親しみの気持ちをもつ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・園児が安心して給食体験ができるように、給食準備の注意点やマナーを教える。 ・園児の発達段階を考えて配慮することで自らの成長を実感する。
指導場面における配慮事項	<ul style="list-style-type: none"> ・事前にメニューをもらい、アレルギー幼児の保護者に連絡をとる。 ・当日は衛生面に充分配慮し、手洗いうがいを徹底する。 ・5年生の児童の話をよく聞けるように落ち着いて参加する。 ・不安のある幼児のそばに付き、寄り添うようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・衛星面に配慮し、気持ちよく食事ができるようにする。 ・園児の発達段階に配慮しながら、給食準備を手伝うようにさせる。 ・園児が小学校に親しみを持ち、来年度の入学に希望が持てるようゲームなどを考えさせる。
活動後の気づき・反省	<ul style="list-style-type: none"> ・事前に量を少なめにしてもらえるように伝えていたので、園児も無理なく食べられた。 ・配膳も5年生が一人一人についてくれたので、自分の分の配膳ができて良かった。 ・5年生が園児に親しみをもって話してくれたので、安心して給食を食べたりゲームに参加したりできた。 ・薪エアロで一緒に動けて子ども達もとても楽しんでいた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・園児にできることは、させてあげようとした方が良いので、小学生は補助という形でついたのが良かった。メニューに汁物があった場合、別で配膳することが必要。 ・手洗い場が混雑していたので時間をずらすか、図工室の手洗い場を使うなどの工夫をした方がよい。 ・和やかな雰囲気で、5年生も園児も過ごせていた。
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・給食と一緒に食べて話をする中で、小学校や5年生に親しみをもつことができた。 ・小学校への期待が膨らんだ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・園児のお世話をすることによって、自分の成長を実感したり、発達段階に気を配りながら接したりすることができた。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・園児がどうしていいかわからず、一人になってしまうことがあったので、気に掛けてもられるように声かけていきたい。 ・終了時刻がクラス毎に差があったので迷惑になつたかも知れない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・こちらが考えている以上に一つ一つの行動や食事に時間のかかる子がいたので、時間に余裕をもって行動させるようにしたい。

幼小接続 交流シート

平成 年 月 日 ()
活動内容 (給食体験)

	保育所(園)・幼稚園(幼児)	小学校(児童)
ねらい	<p>・5年準備 ・5年み ・5年入学への期待を高める。</p> <p>保幼のねらいは、来年度小学校へ入学することへの期待感や安心感をもたせることができるように設定する。</p>	<p>小学校のねらいは、来年度小学校へ入学する保幼の子どもたちが期待感や安心感をもつことができること、小学生としての自覚を引き出せるような設定を心がける。</p>
指導場面における配慮事項	<p>・事前にメニューをもらい、アレルギー幼児の保護者に連絡をとる。</p>	<p>・衛生面に配慮し、気持ちよく食事ができるようにする。 ・児童の発達段階に配慮しながら、給食準備を手うようにする。 ・児童の発達段階を小学生もある程度理解し、子どもたちが主体的に活動ができるように各自の役割分担等丁寧に指導する。</p>
活動後の気づき・反省	<p>・事前に量を少なめにしてもらえるように伝えていたので、児童も無理なく食べられた。</p> <p>・配膳で5人のために、子ども一人一人の変化を丁寧に捉える。 ・児童は楽しく参加できていたか。 ・小学生とコミュニケーションをとることができていたか。 ・子ども一人一人は小学校入学に対する期待感、安心感をもつことができたか。</p>	<p>・児童にできることは、させてあげようとした方が良いので、小学生は補助という形でついたのが良かった。メニューに汁物があった場合、別で配膳する。 ・児童は小学生として生き生きと活動することができていたか。 ・児童も楽しく活動に参加できていたか。 ・活動の準備や活動の流れに漏れや落ち度はなかったか。 ・配慮を必要とする児童はどうだったか。</p>
成果	<p>・給食と一緒に食べて話をする中で、小学校や5年生に親しみをもつことができた。 ・小学校への期待が膨らんだ。</p>	<p>・児童のお世話をすることによって、自分の成長を実感したり、発達段階に気を配りながら接したことができた。</p>
課題	<p>・園児がどうしていいしまうことがあったのうに声かけしていくか ・終了時刻がクラスになつたかも知れない。</p>	<p>いる以上に一つ一つの行動や食べる子がいたので、時間に余裕をるようにしたい。</p>

幼小接続 交流シート

令和 年 月 日 ()

活動内容 ()

	保育所(園)・幼稚園(幼児)	小学校(児童)
ねらい		
指導場面における配慮事項		
活動後の気づき・反省		
成果		
課題		

おわりに

本市では、これまでも隣接した立地条件を活かして、保幼小の連携については体験活動を中心に行われてきました。そのような中、幼稚園教育要領・保育所保育指針の改訂に伴い、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」の明確化・共有化が図られ、また、新小学校学習指導要領におきましても、生活科を中心に、一貫した学びの充実が求められるようになったことから、幼小の接続期に焦点をあて、「幼小接続カリキュラム」を作成することとなりました。

幼児期の教育と小学校教育のそれぞれが求められている目的と役割を踏まえ、幼児期に育まれた力を小学校の学習に活かすための「アプローチカリキュラム」や「スタートカリキュラム」、実践事例集に、各校園所が実態に応じたアレンジを加え活用できるよう作成を進めてまいりました。今後もバインダー方式により、実践事例を更新・積み上げていくことで充実を図りたいと考えております。

後になりましたが、今回の作成にあたっては、各保育所・幼稚園・小学校の先生方には、保育・授業公開や資料収集等、何かとご協力いただきましたこと、この場を借りましてお礼申し上げます。

平成30年3月



幼小接続カリキュラム作成委員会

委 員 長	田辺東小学校 校長	小長谷 直樹
副 委 員 長	田辺東幼稚園 園長	眞下 佐織
	三山木保育所 所長	武藤 伸子
	薪小学校 教務主任	鐘築 栄滋
	田辺小学校 教務主任	南部 智彦
	三山木小学校 教諭	福島 由喜
	河原保育所 所長補佐	吉川 明子
	大住幼稚園 教頭	浅川 美智子
	三山木幼稚園 教頭	松浦 尚子
事 務 局	教育委員会 総括指導主事	中井 達
	指導主事	伊家 京子
	指導主事	芹井 利子

幼小接続カリキュラム

平成30年3月 発行

京田辺市教育委員会

〒610-0393

京都府京田辺市田辺80

TEL 0774-64-1325

FAX 0774-64-1390

京田辺市教育委員会ホームページにも掲載しています。

<http://www.kyotanabe.ed.jp/nc24/csso/htdocs/>